

第8回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会

次 第

開 会 の 辞
 会 長 挨 拶
 来 賓 挨 拶
 表 彰
 総会運営委員会報告
 議 長 選 出
 総 会 職 員 任 命
 議 事
 報 告

第1号議案 平成30年度 事業報告（案）
 第2号議案 平成30年度 決算報告（案）
 第3号議案 平成30年度 監査報告
 第4号議案 名誉会員の承認
 第5号議案 その他
 平成30年度 補正予算 報告
 平成31年度 事業計画・予算 報告

閉 会 の 辞

第 8 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

平成 30 年度事業報告（案）

平成 30 年度事業報告（案）

1. 総括

2019 年 9 月の全国大会が秒読み段階になりました。本会は、臨床に則した数多くの講習会を開催し、「診療放射線技師の教育は診療放射線技師自らが行う」という理念を掲げ活動してまいりました。今では数多くの講師が全国で活躍しております。埼玉県診療放射線技師会がこれまで積み重ねてきた英知を全国に披露する場となります。

今年は役員選挙があり、2018 年度、2019 年度の評価を会員の皆さまにさせていただきたいと考えています。

どうぞ、よろしくお願い致します。

2018 年度の主な出来事

（1）一般

- ①藤井棋士史上最年少で七段に
- ②高門宮絢子さま守屋さん結婚
- ③熊谷で 41.1℃ 国内最高気温記録
- ④本庶氏ノーベル医学生理学賞
- ⑤安室奈美恵さん引退
- ⑥日産ゴーン会長逮捕

（2）医療

- ①千葉大学医学部附属病院で CT 見落とし
- ②医学部不正入試問題
- ③水泳選手白血病

公益活動

例年通り、各支部では各市町村で行われる「健康祭り」へ積極的な参加を行っており、併設された被ばく相談などでは県民から高い評価を得ております。

県立高校での「放射線特別授業」は、継続事業となっております。県立高校の授業の一環として教壇に立ち、文部科学省のカリキュラムに沿って、診療放射線技師会が授業を担務しているというのは、非常に意味のあることです。また、委員会を立ち上げ、この事業に関わる会員の皆さまの研鑽の場となると確信しております。

昨年、埼玉県診療放射線技師学術大会市民公開講座において、小中学生を対象とした 3D 画像解剖学体験を開催しました。次年度はその経験を生かし、全国大会で開催してまいります。

名誉会員の承認

本会へ多大な貢献があった会員として小柳洋二氏、清水文孝氏を名誉会員に推薦させていただきました。ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

学術活動

各モダリティで認定講習会を開催し、基礎からハイレベルまで対応したきめ細かな内容となっています。これまでの事業は継続し発展させていきます。

会員の育成

埼玉では以前から、講師育成に取り組んでまいりました。本会の会員が、他学会・他県技師会などで多くの人材が活躍しております。近年では、国際学会へ発表する診療放射線技師が増えてきており、今後は技師会としてバックアップを行い、人材の育成に取り組んでまいります。

役員の育成

技師会で学び育った人材が各施設でリーダーシップを発揮し、さらに人材育成をしていただくことは技師会の役目でもあります。他職種と多くの関わりあいを持ち、役員の成長につなげてまいります。

1) 総務

入会促進事業の一つであるフレッシューズセミナーは今年度も県内外から多数の参加者がありました。今後も会員入会促進事業として継続していきたいと考えております。

永年勤続表彰事業は、日本診療放射線技師会より委託されている 50 年、30 年の対象者を抽出し返信いただいた会員の方々を日本診療放射線技師会に推薦致しました。表彰は 2019 年埼玉県で行われる学術大会で行われます。埼玉県診療放射線技師会の 40 年、20 年永年勤続表彰は、対象者となる会員の方々を表彰委員会に推薦致しました。こちらの表彰は当会定期総会にて行う予定です。

恒例となりました新年当初の新春の集いは、会員・賛助会員・新入会員が一堂に会し、例年同様和やかに開催されました。

いずれの事業におきましても、会の事業として継続の必要性があると考えております。

2) 学術

学術活動において、会員が参加したいイベントが、身近に開催されていることが大切と考えています。また最新なことのみにではなく、診療放射線技師として基本的な内容を掘り下げていくことも本会の役割と思っています。本会は 10 年以上前から読影に関して、セミナーを通じて教育のカリキュラムに取り込んでまいりました。平成 22 年 4 月、厚生労働省医政局の通知により、診療放射線技師の読影の補助ということが社会的に重要視されるようになったことは、本会としても教育指針の方向性に整合性が取れていると考えています。本年度学術事業の方向性に関しては、昨年と同様に考え進めてまいりました。近年、外部環境は各

種認定制度や専門技師制度が確立されつつあり、周囲の状況を踏まえた各種セミナーや講習会を開催してまいりました。本年度認定講習会は、胸部認定講習会・上部消化管検査認定講習会・CT検査認定講習会を開催しました。胸部認定講習会においては、診療放射線技師の読影やデジタル画像における撮影線量の最適化の講義を充実させました。上部消化管認定講習会・CT検査認定講習会においては、それぞれの認定機構や地域研究会との整合性を図り開催しました。また、内容に関しても充実し、実践的な教育を行いました。その他、Freed セミナー、MRI 講習会、DR 計測セミナー、乳腺画像セミナー、救急撮影ケーススタディーを開催し、多数の参加者が得られました。

3) 編集・情報

埼玉放射線 Vol.66 No.3・4、Vol.67 No.1・2 の計 4 号を発刊しました。編集・情報活動は本会活動の中でも、重要な事業と考えています。

会誌「埼玉放射線」は、平成 26 年から発行回数が年 4 回となりましたが、その分、内容をさらに充実させることへ力を注ぎました。

Web サイトについては、診療放射線技師向け情報提供や講習会などの申し込みの他、「診療放射線技師として必要な情報はなるべく掲載する」という方針の下、多岐にわたる情報を発信しました。また県民の方が閲覧しても有益なよう、医療被ばくについての解説や放射線検査の紹介など、放射線診療に関する正確な情報を専門家の立場から分かりやすく提供しました。

これら Web サイトの他、定期的に会員向けメールマガジンの配信を行いました。Web サイトやメルマガは即時性の高い情報提供手段と考えています。

2016 年 4 月より企画班を設けました。主な役割は、会誌の学術関係の企画です。今年は学術大会の企画なども行いました。今後は、会員のために充実した魅力ある技師会・会誌になるよう務めていきたいと考えます。

4) 公益

平成 30 年度本会公益活動として

- ・埼玉県各支部の医療画像展でのパネルを使用した放射線検査や治療などの説明とパンフレットの配布
 - ・各支部医療画像展での超音波式骨密度の無料測定
 - ・ホームページからの被ばく相談（実績 8 件）
 - ・がん患者支援チャリティ・イベントとして RFLJ 川越へ参加
 - ・放射線特別授業（埼玉県内の高校へ放射線関連の授業を行う）を 1 校 1 回実施
 - ・被ばく相談事例検討会の開催
- 一を行ってきました。
- 公益活動は「不特定かつ多数のものの利益」と考えられ

がちですが、内閣府の公益認定等委員会では、公益活動は対象が特定または少数であることが問題なのではなく、その活動が「求められているか」と受益の機会が「開かれているか」という 2 点をポイントとしています。この二点から、平成 30 年度公益活動を振り返り、地域住民ひいては県民とわれわれ診療放射線技師をつなぐ懸け橋としてだけでなく、医療に携わる者として、意識向上とチーム医療推進のために医療関係職種との交流を持った活動を展開していく所存であります。

2. 事業遂行評価

1. 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会 ○
- イ. 胸部撮影認定講習会 ○
- ウ. 上部消化管検査認定講習会 ○
- エ. フレッシュアップセミナー（SART セミナー） ○
- オ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー
（医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成） ○
- カ. CT 認定講習会 ○
- キ. MRI 基礎講習会 ○
- ク. 乳腺セミナー ○
- ケ. DR 計測セミナー ○
- コ. 救急撮影ケーススタディー
（日本救急撮影技師認定機構との共催） ○
- サ. 読影力向上のための講習会
（支部開催セミナー） ○
- シ. 業務拡大に伴う統一講習会 ○

(2) 会員講師の育成と体制づくり

(3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進

- ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力 ○
- イ. 埼玉県医師会主催事業への支援 ○
- ウ. 埼玉臨床画像研究会への協力 △
- エ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画 ○
- オ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画 ○
- カ. 各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進） ○

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携 ○
- (2) 入会促進事業の強化 ○

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- (2) 市民公開講座の開催 ○
- (3) 地域自治体主催事業への参画 ○
- (4) 医療画像展の開催と支援 ○

- (5) 県民向けホームページの充実 ○
 (6) 医療被ばく相談の迅速な対応 ○
 (7) 公立学校における放射線教育の担務 ○

4. 編集・情報

- (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実 ○
 (2) 診療放射線技師向けホームページの充実 ○
 ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報 ○
 イ. 学術データベースの充実 ○
 (3) メールマガジンの有効利用 ○

5 その他

- (1) 他職種の職能団体との連携 ○
 (2) 技師会事務所長期修繕計画の立案 済 ○
 (3) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力 ○

平成 30 年度各事業報告

1. 総務事項報告

(1) 平成 30 年度役員は次のとおりである。

役 職 名	氏 名	担 当
会 長	田中 宏	
副 会 長	堀江 好一	
同	富田 博信	
監 事	橋本 里見	
同	鈴木 正人	
常 務 理 事	結城 朋子	総 務
同	城處 洋輔	総 務
同	潮田 陽一	財 務
同	今出 克利	学 術
同	八木沢英樹	編 集・情 報
同	佐々木 健	公 益
理 事	双木 邦博	総 務・第一支部
同	大西 圭一	総 務・第二支部
同	山岸 正和	総 務・第三支部
同	齋藤 幸夫	総 務・第四支部
同	矢崎 一郎	総 務・第五支部
同	山口 明	総 務・第六支部
同	寺澤 和晶	学 術
同	山田 智子	学 術
同	中根 淳	学 術
同	清水 邦昭	編 集・情 報
同	芦葉 弘志	公 益

(2) 会議開催状況

ア. 総会

第 7 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会総会を平成 30 年 6 月 17 日（日）、浦和コミュニティセンターにおいて会員 35 人出席、有効委任状提出 618 人、合計 653 人に

て開催しました。総会では平成 29 年度事業報告案、平成 29 年度決算報告案、平成 29 年度監査報告、および名誉会員の承認などについて審議し決議しました。

イ. 理事会は下記のとおり 7 回開催し、重要案件について審議し決議しました。

理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	平成 30. 05. 10	技師会事務所
2	30. 06. 07	同
3	30. 07. 05	同
4	30. 09. 06	同
5	30. 11. 01	同
6	31. 01. 10	同
7	31. 03. 08	同

ウ. 常務理事会は下記の通り 4 回開催し、理事会への提案議題の審議ならびに決定事項について処理しました。

常務理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	平成 30. 04. 04	技師会事務所
2	30. 10. 04	同
3	30. 12. 06	同
4	31. 02. 07	同

エ. その他

連絡会議並ならびに予算会議を開催、会務の重要事項について審議立案し、必要事項を調整・処理しました。

連絡会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	平成 30. 04. 26	技師会事務所
2	30. 05. 31	同
3	30. 06. 28	同
4	30. 10. 25	同
5	31. 02. 28	同

予算会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	平成 31. 02. 07	技師会事務所

北関東地域会長会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	平成 30. 06. 29	新潟大学
2	30. 12. 01	大宮ソニックシティ

(3) 各委員会開催状況

各委員会開催状況は別表の通りです。

委 員 会 名	開 催 年 月 日
総 会 運 営 委 員 会	平成 30. 06. 17
編 集 情 報 委 員 会	平成 30. 06. 05
	30. 09. 04
	30. 11. 06
	31. 01. 16
	31. 03. 05
企 画 班 委 員 会	平成 30. 05. 17
	30. 08. 09
	30. 11. 08
	31. 03. 13
	31. 05. 15
学 術 委 員 会	平成 30. 04. 23
	30. 06. 18
	30. 08. 21
	30. 09. 25
	30. 10. 15
	31. 03. 26
公 益 委 員 会	平成 30. 04. 10
	30. 06. 05
	30. 08. 28
	30. 11. 07
	31. 02. 05
放 射 線 特 別 授 業 運 営 委 員 会	公益委員会と合同

表彰委員会

	年 月 日	開 催 場 所
1	平成 30. 10. 31	技師会事務所

(4) 各種委員会名簿

ア. 表彰委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	藤間 英雄
委 員	小島 精一 渡辺 弘
同	田中 宏 堀江 好一
同	富田 博信 結城 朋子
同	城處 洋輔 平野 雅弥

イ. 医療画像展実行委員会（秩父会場）

役 職 名	氏 名
実 行 委 員 長	横田 文克
副実行委員長	齋藤 幸夫
実 行 委 員	清水 浩和 萩原 貴之
同	新井 偉生 大野 渉
同	高井 太市 柏瀬 義倫
同	近藤 和彦 阿佐美裕史
同	新井 孝史 三上 紀之

ウ. 医療画像展実行委員会（浦和区会場）

役 職 名	氏 名
実 行 委 員 長	双木 邦博
実 行 委 員	野々浦成美 福田 栞
同	西田 衣理 戸澤 僚太
同	内藤 完大 傳田 亜巳
同	鈴木 優太 八木沢英樹
同	石井 聖人 志村 香
同	鎌田 靖男 安田 一平
同	酒井 利幸 北原 弘治

エ. 医療画像展実行委員会（川越会場）

役 職 名	氏 名
実 行 委 員 長	山岸 正和
実 行 委 員	橋本利恵子 市川 隆史
同	轟 圭介 高瀬 正人
同	森下 勝 大友 正人
同	中村 美紀 新井 舞
同	小見彩也香

オ. 医療画像展実行委員会（越谷市会場）

役 職 名	氏 名
実 行 委 員 長	矢崎 一郎
実 行 委 員	岩井 悠二 矢部 智
同	村本 圭祐
同	金子 初穂 中嶋 幸孝
同	長坂 純

カ. 医療画像展実行委員会（深谷会場）

役 職 名	氏 名	
実 行 委 員 長	齋藤 幸夫	
副実行委員長	清水 浩和	
実 行 委 員	新井 偉生	横田 文克
同	高井 太市	大野 渉
同	柏瀬 義倫	萩原 貴之
同	坂本 里紗	浅見 有希
同	長沼紗由美	

キ. 医療画像展実行委員会（行田会場）

役 職 名	氏 名	
実 行 委 員 長	萩原 貴之	
副実行委員長	齋藤 幸夫	
実 行 委 員	清水 浩和	横田 文克
同	大野 渉	柏瀬 義倫
同	大谷 智則	

ク. 医療画像展実行委員会（伊奈町会場）

役 職 名	氏 名	
実 行 委 員 長	山口 明	
副実行委員長	茂木 雅和	
実 行 委 員	牧 隆史	中村 聖
同	飯田 瑞希	大久保麻優
同	畠山 祥一	倉内 克憲
同	仲西 一真	飯島 竜
同	矢野 健太	小保方 駿

ケ. 医療画像展実行委員会（春日部会場）

役 職 名	氏 名	
実 行 委 員 長	矢崎 一郎	
実 行 委 員	矢部 智	
同	金子 初穂	中嶋 幸孝

コ. 編集・情報委員会

役 職 名	氏 名	
委 員 長	八木沢英樹	
副 委 員 長	清水 邦昭	
委 員	肥沼 武司	潮田 陽一
同	宮崎 雄二	豊留 章裕
同	吉田 敦	大友 哲也
同	渡部 伸樹	堀越 隆之

サ. 企画班（編集・情報委員会）

役 職 名	氏 名	
委 員 長	八木沢英樹	
副 委 員 長	清水 邦昭	
委 員	大西 圭一	河原 剛
同	舘林 正樹	眞壁 耕平
同	渡辺 嵩広	

シ. 学術委員会

役 職 名	氏 名	
委 員 長	今出 克利	
副 委 員 長	寺澤 和晶	山田 智子
同	中根 淳	
委 員	栗田 幸喜	大森 正司
同	城處 洋輔	大根田 純
同	土田 拓治	近藤 敦之
同	滝口 泰徳	伊藤 寿哉
同	亀山 枝里	富田 博信
同	佐々木 健	佐藤 浩彰
同	持田 朋之	

ス. 公益委員会

役 職 名	氏 名	
委 員 長	佐々木 健	
副 委 員 長	芦葉 弘志	
委 員	志藤 正和	矢島 慧介
同	内海 将人	眞壁 耕平
同	豊留 章裕	紀陸 剛志
同	石田 仁子	坂本 里紗
同	大河原侑司	

セ. 総務・財務委員会

役 職 名	氏 名	
委 員 長	結城 朋子	
副 委 員 長	城處 洋輔	潮田 陽一
委 員	堀江 好一	富田 博信
同	双木 邦博	大西 圭一
同	山岸 正明	齋藤 幸夫
同	矢崎 一郎	山口 明
同	田中 達也	矢部 智
同	佐々木 剛	

ソ. 総会運営委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	新堀 隆男
委 員	栗原 真 遠藤 真里
同	萩原 貴之 長坂 純
同	倉内 克憲

タ. 総会実行委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	田中 宏
副 委 員 長	堀江 好一 富田 博信
委 員	結城 朋子 城處 洋輔
同	潮田 陽一 今出 克利
同	八木沢英樹 佐々木 健

(5) 表 彰

叙勲瑞宝双光章受賞（敬称略）

小柳 洋二、清水 文孝

保健衛生知事表彰（敬称略）

富田 博信

公衆衛生功労知事表彰（敬称略）

山崎 富雄、間山金太郎

公衆衛生事業功労者（財）日本公衆衛生協会会長表彰（敬称略）

田中 宏、吉田 正

（公社）日本診療放射線技師会表彰

功労表彰（1人、敬称略）

富田 博信

永年 50 年勤続者表彰（1人、敬称略）

渡辺 弘

永年 30 年勤続者表彰（11人、敬称略）

小池 克美、柳田 智、若林 秀樹、山岸 正和

鈴木 正二、永田 恒昭、角田 喜彦、

廣沢 信雄、村田 光俊、林 邦彦、加藤 芳人

（公社）埼玉県診療放射線技師会表彰

永年 40 年勤続者表彰（3人、敬称略）

松本 諭一、茂木 幹夫、諸澄 邦彦

永年 20 年勤続者表彰（5人、敬称略）

浅野 智生、池田 圭介、岩尾 規弘、

勅使河原 真由美、山田 伸司、

(6) 物故者（1人、敬称略）

平山 一郎

(7) 会員の動向（平成 31 年 3 月 31 日現在）

項 目	会 員 数
平成 29 年度末 会員数	1,269 人
平成 30 年度 新入会者数	91 人
同 再入会者数	1 人
同 転入者数	12 人
同 転出者数	8 人
同 退会者数	69 人
平成 30 年度末 会員数	1,296 人

(8) 平成 30 年度賛助会員 19 社（順不同）

シーメンスヘルスケア株式会社

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

キャノンメディカルシステムズ株式会社

株式会社三田屋製作所

株式会社日立製作所

株式会社メディカル・サービス T&K

第一三共株式会社

富士フイルムメディカル株式会社

日本メジフィジックス株式会社

株式会社フィリップス・ジャパン

バイエル薬品株式会社

富士フイルム富山化学株式会社

日本放射線防弊株式会社

ケアストリームヘルス株式会社

株式会社サイカンシステム

島津メディカルシステムズ株式会社

株式会社東日本メディカル

株式会社 neo

株式会社アゼモトメディカル

2. 学術教育活動報告

(1) 平成 30 年度 学術講演会～乳腺編～

講 師：亀山枝里、新島正美、坂井香澄、根岸徹、
二宮淳、齊藤毅

開催日時：平成 30 年 6 月 24 日（日）

場 所：さいたま赤十字病院

参 加 者：73 人

(2) DR 計測セミナー

講 師：堀切直也、土田拓治、滝口泰徳、森一也、
開催日時：平成 30 年 8 月 26 日（日）

場 所：済生会川口総合病院

参 加 者：11 人

(3) CT 認定講習会 ～入門編～

講 師：富田博信、中根淳、城處洋輔

開催日時：平成 30 年 8 月 29 日（水）

場 所：浦和コミュニティセンター

参 加 者：32 人

(4) CT 認定講習会 ～取得者向け～

講師：富田博信、中根淳、城處洋輔
開催日時：平成 30 年 8 月 29 日（水）
場所：浦和コミュニティセンター
参加者：3 人

(5) 乳腺画像読影セミナー ～初級編～

講師：佐藤夏都美、亀山枝里
開催日時：平成 30 年 10 月 14 日（日）
場所：さいたま赤十字病院
参加者：36 人

(6) JART 基礎講習会 【消化管撮影】

講師：遠藤亜矢子、竹内修平、工藤安幸、
池田圭介、今出克利、大森正司
開催日時：平成 30 年 11 月 11 日（日）
場所：さいたま赤十字病院
参加者：47 人

(7) 第 10 回 CT 認定講習会

講師：富田博信、染野智弘、八木沢英樹
寺澤和晶、中根 淳、志藤 正和、城處洋輔
開催日時：平成 30 年 11 月 11 日（日）
場所：済生会川口総合病院
参加者：29 人

(8) MRI 講習会

講師：棹山孔太郎、浜野洋平、丸 武史、
渡邊城大、近藤敦之、栗田幸喜
開催日時：平成 30 年 11 月 18 日（日）
場所：済生会川口総合病院
参加者：13 人

(9) 第 17 回胸部認定講習会

講師：佐々木健、浅野省二、土田拓治、滝口泰徳、
染野智弘、柴俊幸
開催日時：平成 30 年 11 月 25 日（日）
場所：済生会川口総合病院
参加者：19 人

(10) 第 6 回 Freed セミナー

講師：ヤセ騎士（ナイト）、佐々木健
開催日時：平成 30 年 12 月 1 日（土）
場所：上尾中央総合病院
参加者：26 人

(11) 平成 30 年度 乳腺セミナー ～精度管理編～

講師：土田拓治、高橋美香、川島早紀子、
亀山枝里、新島正美、尾形智幸、田中宏
開催日時：平成 31 年 1 月 20 日（日）
場所：さいたま赤十字病院
参加者：17 人

(12) 第 1 回 SART 学術ナイトセミナー

～本当に理解している？ DR、CT の撮影条件と線量管理～

講師：滝口泰徳、中根淳、矢崎一郎

開催日時：平成 31 年 1 月 25 日（金）

場所：桶川市民ホール 響の森

参加者：31 人

(13) 平成 30 年度胸部認定試験

開催日時：平成 31 年 1 月 26 日（土）

場所：技師会事務所

参加者：17 人

指導員：戸澤僚太（済生会川口総合病院）

準指導員：倉林哲也（深谷赤十字病院）

白鳥綾子（八潮中央総合病院）

樋口誠一（上尾中央総合病院）

(14) 研究発表支援セミナー

講師：城處洋輔、近藤敦之、佐々木健、中根淳

開催日時：平成 31 年 2 月 2 日（土）

場所：パイオランドホテル 秩父

参加者：23 人

(15) 平成 30 年度 CT 認定試験

開催日時：平成 31 年 2 月 23 日（土）

場所：ウェスタ川越

参加者：20 人

指導員：岡澤孝則（上尾中央総合病院）

準指導員：戸澤僚太（済生会川口総合病院）

井田篤（上尾中央総合病院）

福崎彩未（上尾中央総合病院）

飯泉隼（上尾中央総合病院）

菱沼寛訓（伊奈病院）

伊藤麻美（埼玉医科大学総合医療センター）

小野寺衣里（済生会川口総合病院）

(16) 救急撮影ケーススタディー

講師：大根田純、井田篤、渡部伸樹

開催日時：平成 31 年 3 月 2 日（土）

場所：さいたま赤十字病院

参加者：17 人

3. 編集・情報・企画班 活動報告

(1) 編集活動報告

平成 30 年度の編集活動として、会誌「埼玉放射線」を第 66 巻 253 号から第 67 巻 256 号まで、計 4 回発刊致しました。第 66 巻 253 号では、連載企画、「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」～診療に役立つ膝関節 CT のススメ～、「膝関節立位荷重撮影について」～画像所見の取り方から撮影条件の最適化まで～、「病変把握がポイント！手関節 MRI」「MRI の性能評価」～SNR の測定方法～。誌上講座、平成 28 年度 SART・TART 地区合同勉強会 骨軟部撮影セミナー 2017 抄録集、「経験不足な検査に対する私なりのアプローチ」～ACS に対するアキレス腱撮影を通じて～、「日々の撮像に活かしたい骨軟部診断の

知識」～読影医の視点から～。Dual Energy CT セミナー 2017 抄録集、「Dual Energy セミナー 2017 開催報告・座長集約」～基礎講座「イメージベースでエネルギー情報を解析してみる」～、「Metal Artifact Reduction」～メタルアーチファクトの基礎～、「メタルアーチファクトの評価法」「臨床におけるメタルアーチファクトリダクション」「Metal Artifact Reduction」～評価法から臨床応用まで～メタルアーチファクト共同実験、技術解説「半導体 PET/CT 装置 Discovery MI 技術紹介」GE ヘルスケア・ジャパン株式会社。第 66 巻 254 号では、連載企画、「MRI の性能評価」～均一性の測定方法～。誌上講座、平成 29 年度 支部合同勉強会 in くまがや 抄録集。「小児疾患～頭部外傷～」、「多発外傷について」～外傷初期診療から IVR まで～、「脳血管障害について」～破裂動脈瘤におけるコイリング術～。第 67 巻 255 号では、誌上講座、平成 29 年度 支部合同勉強会 in くまがや 抄録集。「あなたは気づきますか？」～乳癌のサイン～、「急性腹症について」～虫垂炎をマスターしてスキルアップ～、「肝細胞癌について」～肝切除における手術支援画像を作ってみよう～。第 67 巻 256 号では、誌上講座、骨軟部撮影セミナー 2018 抄録集。「新しい画像処理パラメータの画質評価」「撮影室での安全な移乗～脊髄損傷者のトランスファー」「重力ストレス撮影による足関節回外外旋骨折の評価」。また「求められる医療被ばくの説明責任」を掲載。また前年度に続き、協賛企業の方々に「技術解説」をご執筆いただき、多くの方から内容について好評をいただきました。

(2) 情報活動報告

ア「会員向け HP」

- 1) 学術案内 (96 件)
- 2) 巻頭言 (4 件) 254 号まで
- 3) 会誌 (4 件) 248 ～ 251 号まで
- 4) お知らせ (11 件)
- 5) 学術データベース (0 件)
- 6) 第 35 回 日本診療放射線技師学術大会 HP 掲載

イ「一般向け HP」

- 1) 「会誌・バックナンバー」248 ～ 251 号まで
- 2) リレーフォーライフジャパン開催案内 (1 件)

ウ「メールマガジン配信」

- 1) 配信 6 件 (No.89 から No.94 まで)
- 2) 登録 7 件

(3) 企画班活動報告

ア、会誌企画

- 1) 2018 年 7 月 253 号
連載企画：
「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」～診療に役立つ膝関節 CT のススメ～
「膝関節立位荷重撮影について」～画像所見の取り方から撮影条件の最適化まで～

「病変把握がポイント！手関節 MRI」

誌上講座：

1. 平成 28 年度 SART・TART 地区合同勉強会 骨軟部撮影セミナー 2017 抄録集
「経験不足な検査に対する私なりのアプローチ」～ ACS に対するアキレス腱撮影を通じて～
「日々の撮像に活かしたい骨軟部診断の知識」～読影医の視点から～
2. Dual Energy CT セミナー 2017 抄録集
「Dual Energy セミナー 2017 開催報告・座長集約」～基礎講座「イメージベースでエネルギー情報を解析してみる」～
「Metal Artifact Reduction」～メタルアーチファクトの基礎～
「メタルアーチファクトの評価法」
「臨床におけるメタルアーチファクトリダクション」「Metal Artifact Reduction」～評価法から臨床応用まで～メタルアーチファクト共同実験
技術解説：「半導体 PET/CT 装置 Discovery MI 技術紹介」GE ヘルスケア・ジャパン株式会社。

2) 2018 年 10 月 254 号

誌上講座：

- 平成 29 年度 支部合同勉強会 in くまがや 抄録集
「小児疾患～頭部外傷～」
「多発外傷について」～外傷初期診療から IVR まで～
「脳血管障害について」～破裂動脈瘤におけるコイリング術～

3) 2019 年 1 月 255 号

誌上講座：

- 平成 29 年度 支部合同勉強会 in くまがや 抄録集
「あなたは気づきますか？」～乳癌のサイン～
「急性腹症について」～虫垂炎をマスターしてスキルアップ～
「肝細胞癌について」～肝切除における手術支援画像を作ってみよう～

4) 2019 年 5 月 256 号

誌上講座：

1. 骨軟部撮影セミナー 2018 抄録集
「新しい画像処理パラメータの画質評価」
「撮影室での安全な移乗～脊髄損傷者のトランスファー」
「重力ストレス撮影による足関節回外外旋骨折の評価」
2. 「求められる医療被ばくの説明責任」

4. 新春の集い

開催日時：平成 31 年 1 月 11 日 (金) 19:00 ～ 21:00
会 場：大宮サンパレス GLANZ「ストーリーア」

参加者：会員 38 人、賛助会員 35 人、新入会員 29 人、
合計 102 人

5. 財務報告

決算関係報告は総会にて行います。

6. 公益活動

(1) 医療画像展

ア. 秩父市保健センターまつり

開催日時：平成 30 年 6 月 3 日（日）

場 所：秩父市保健センター

イ. リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 川越

開催日時：平成 30 年 9 月 15 日（土）～ 16 日（日）

場 所：川越市水上公園

ウ. 越谷市民祭り

開催日時：平成 30 年 10 月 28 日（日）

場 所：越谷市役所庁舎内

エ. 彩の国いきいきフェスティバル

開催日時：平成 30 年 11 月 18 日（日）

場 所：埼玉県県民活動総合センター

オ. 深谷市福祉健康まつり

開催日時：平成 30 年 10 月 28 日（日）

場 所：深谷市総合体育館

カ. 川越市健康まつり

開催日時：平成 30 年 11 月 4 日（日）

場 所：ウェスタ川越

キ. 浦和区健康まつり

開催日時：平成 30 年 11 月 4 日（日）

場 所：浦和コミュニティセンター

ク. 行田市健康フォーラム 2018

開催日時：平成 30 年 12 月 9 日（日）

場 所：行田市「みらい」ホール

ケ. ポポラ春日部 7 周年記念イベント

開催日時：平成 30 年 12 月 8 日（土）～ 9 日（日）

場 所：春日部市民活動センター

(2) 被ばく相談

ア. 各支部医療画像展、リレー・フォー・ライフ川越にて開催

イ. ホームページにて 8 件

(3) 放射線特別授業

ア. 寄居城北高等学校

開催日時：平成 30 年 6 月 20 日（水）

(4) 被ばく相談事例検討会

開催日時：平成 31 年 3 月 9 日（土）

7. 支部報告

第一支部

支部理事 双木 邦博

監 事 宮澤 浩治

役 員 八木沢英樹 野々浦成美

福田 栞 森 一也

西田 衣里 戸澤 僚太

石井 聖人 志村 香

鎌田 靖男 安田 一平

酒井 利幸 北原 弘治

(1) 地区役員会

開催日時：平成 30 年 6 月 19 日（火）19：00～

場 所：JCHO 埼玉メディカルセンター

参加人数：10 人

内 容：浦和区健康まつり、勉強会内容、新役員紹介

(2) 第 1 回地区勉強会

開催日時：平成 30 年 10 月 9 日（火）19：00～

場 所：浦和コミュニティセンター 15 集会室

参加人数：31 人

内 容：

ア. メーカー講演

「高解像度、高感度、高画質」を実現するコニカミ
ノルタの最新技術

コニカミノルタジャパン株式会社

ヘルスケアカンパニー北関東支店

窪谷 大樹

イ. 一般演題

「全脊椎長尺撮影の計測法から撮影のチェックポ
イントを探ろう」

済生会川口総合病院 眞壁 耕平

「造影検査のギモン」

済生会川口総合病院 西田 衣里

ウ. 特別講演

「Dual energy の新たな世界」

済生会川口総合病院 富田 博信

(3) 浦和区健康まつり 2018

開催日時：平成 30 年 11 月 4 日（日）10：00～15：00

場 所：浦和コミュニティセンター

参加事業：超音波式骨密度測定

医療画像展

放射線検査の啓発・説明

実行委員：15 人

測定人数：360 人

(4) 平成 30 年度 SART 支部合同勉強会 in 熊谷

開催日時：平成 30 年 11 月 10 日（土）13：00～18：00

場 所：森林公園 四季の湯温泉

ホテル・ヘリテイジ

参加人数：136 人

(5) 第 2 回地区勉強会

開催日時：平成 31 年 1 月 29 日（火）19：00～

場 所：浦和コミュニティセンター

参加人数：30 人

内 容：

ア.「リードレスペースメーカーについて」

日本メドトロニック株式会社 山田 健史

イ.「RSNA2018 報告」Siemens Healthineers

CT 事業部 吉田 博和

MRI 事業部 大澤 勇一

CAIR 事業部 富士溪 俊之

ウ.「胎児と胎盤の MRI」

さいたま市立病院 佐藤 吉海

(6) 第 3 回地区勉強会&会計報告

開催日時：平成 31 年 2 月 15 日（金）19：00～

場 所：浦和コミュニティセンター

参加人数：28 人

内 容：

ア.「平成 30 年度会計報告」

第一支部理事 双木 邦博

イ.「最新モダリティーをつかいこなそう」

キャノンメディカルシステムズ株式会社

三浦 洋敬

ウ.「トモシンセシスの効果と AMULET Innovality
の最新技術」

富士フィルムメディカル株式会社

浅野 省二

エ.「マンモグラフィ トモシンセシスの使用経験」

埼玉協同病院 放射線画像診断科 佐藤 夏都美

第二支部

会 長（支部理事） 大西 圭一

会 計 栗原 真

小田島明子

監 事 仲埜 智文

役 員 瀧澤 誠

近藤 忠晴

山下 隆行

矢幅 俊一

小沢 利行

篠原 貴紀

邨井 優大

協力員 武田 義昭

(1) 第 1 回勉強会

日 時：平成 30 年 4 月 26 日（木）18：45～

場所：国立障害者リハビリテーションセンター

参加者：53 人

内 容：

ア. 製品紹介

「ITEM における MRI 最新情報」

シーメンスヘルスケア株式会社 MR 事業部

小幡 剛士

イ. 一般研究発表

座長 さやま総合クリニック 篠原 貴紀

AIC 八重洲クリニック 館林 正樹

「急性期脳梗塞 2 相 CTA を用いた還流評価の基礎
的検討」

草加市立病院 石川 春菜

「肩関節における BLADE 法の有用性」

埼玉医科大学病院 遠藤 真里

「パーキンソン病脳深部刺激療法における MRI によ
る手術支援画像について」

埼玉県総合リハビリセンター 矢部 仁

「最新撮像技術」

シーメンスヘルスケア株式会社 MR 事業部

小幡 剛士

ウ.「明日から使える装置管理～AEC の作動理論と
性能評価を 学ぶ～」

座長 AIC 八重洲クリニック 館林 正樹

熊谷総合病院 清水 理乃

「AEC 概論・一般撮影装置」

済生会川口総合病院 岡田 翔太

「乳房撮影装置」

上尾中央総合病院 福崎 彩未

「CT」

上尾中央総合病院 茂木 大哉

(2) 第 2 回勉強会

日 時：平成 30 年 5 月 24 日（木）19：00～

場 所：国立障害者リハビリテーションセンター

参加人数：47 人

内 容：

ア. 製品紹介

「neo が提供するソリューションについて」

株式会社 neo 医療 IT ゼネラルマネージャー

川上 晋

イ. 一般研究発表

座長 原田病院 瀧澤 誠

所沢ハートセンター 小柳津 三明

「クラウドと AI」

株式会社 neo 医療 IT ゼネラルマネージャー

川上 晋

「画像任意回転機能の臨床応用への検討」

上尾中央総合病院 樋口 誠一

ウ.「胸部一般撮影について」

座長 済生会川口総合病院 森 一也

上尾中央総合病院 滝口 泰徳

「撮影線量最適化」

上尾中央総合病院 茂木 大哉

「読影」

トワーム小江戸病院 菅野 勝

(3) 第3回勉強会

日 時：平成30年6月28日(木) 18:30～
場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
参 加 者：24人
内 容：
ア. 製品紹介
「ザイオステーション2 最新情報」
アミン株式会社 明福 義昭
イ. 一般研究発表
座長 所沢ハートセンター 小柳津 三明
和光病院 横島 義則
「腹部単純CTにおけるSSDEを用いた線量管理の検討」
上尾中央総合病院 内田 瑛基
「ノイズ低減処理における有用性の基礎的検討」
済生会川口総合病院 井上 友貴
「ワークステーション：大腸CT解析」
アミン株式会社 明福 義昭
ウ. 「大腸CT二次検診運用報告」
座長 イーメディカル東京遠隔画像診断センター
鈴木 雅裕

(4) 循環器CTセミナー2018(第2支部・バイエル薬品共催)

日 時：平成30年8月25日(土)
場 所：浦和コソココミュニティプラザ
参加人数：144人
内 容：
ア. 技術講演
「Aquilion ONEの期外収縮症例と不整脈制御機能の有用性」
座長 越谷市立病院 関根 貢
講師 高瀬クリニック 高柳 知也
イ. ランチョンセミナー「心臓CT最新技術報告」
座長 東京ベイ・浦安市川医療センター
前川 典子
講師
フィリップスエレクトロニクスジャパン
小藺井 剛
シーメンス・ジャパン 松浦 孝俊
キャノンメディカルシステムズ 天野 清香
GEヘルスケア・ジャパン 紫藤 尚利
アミン株式会社 明福 義昭
ウ. セッションI
座長 AIC八重洲クリニック 館林 正樹
「知っているようで知らない心臓解剖基礎知識」
小川赤十字病院 高井 太市
「TAVI術前計測～Bicuspid Aortic Valve編～」
東京ベイ・浦安市川医療センター 小島 基揮

「当院におけるAVP術前シミュレーション～新しい技術を用いて～」

上尾中央総合病院 内田 瑛基

エ. セッションII

「Immediate Cardiac Life Support～患者急変、あなたの役割はなんですか～」

座長 AIC八重洲クリニックつくば画像検査センター 吉田 諭史

講師 上尾中央総合病院 佐々木 健

オ. 技術講演

「循環器領域 術前画像支援の働き方改革～Physiology & Structure～」

座長 江戸川病院 佐藤 英幸

講師 小倉記念病院 中村 義隆

カ. 特別講演

「心臓CT画像を使った3DプリンティングとAIの可能性！」

座長 石心会川崎幸病院 石田 和史

上尾中央総合病院 仲西 一真

講師 桜橋渡辺病院 心臓・血管センター画像診断科長 小山 靖史 先生

(5) 第4回勉強会

日 時：平成30年9月27日(木) 18:30～
場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
参加人数：24人
内 容：

ア. 製品紹介

「Thin Filterって何？」

シーメンスヘルスケア株式会社 CT事業部
松浦 孝俊

イ. 「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」

1) 一般撮影

「下肢立位撮影について」

座長 防衛医科大学校病院 野瀬 英雄

講師 東京女子医科大学病院 森田 康介

(6) 第5回勉強会

日 時：平成30年10月25日(木) 19:00～
場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
参 加 者：26人
内容：

ア. CTセッション「jaundice」

座長 彩の国東大宮メディカルセンター

小野寺 将真

講師 三郷中央総合病院 長坂 純

上尾中央総合病院 茂木 雅和

イ. MRIセッション「各施設・各メーカーにおけるルーチン検査～MRCP編～」

座長 草加市立病院 佐藤 広崇

済生会川口総合病院 丸 武史

講師

1) GE ユーザー

上尾中央総合病院 木下 友都

2) Canon ユーザー

草加市立病院 加藤 広一

3) SIEMENS ユーザー

東京慈恵会医科大学附属第三病院 大滝 正子

4) Philips ユーザー

千葉メディカルセンター 小島 正歳

(7) 平成 30 年度 SART 支部合同勉強会 in 熊谷

(第 1・2・3・4・5・6 支部合同勉強会)

日 時：平成 30 年 11 月 10 日 (土) 13:00 ~ 18:00

場 所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテ
ジ

参加人数：136 人

内 容：

ア. 「身に着きたい読影力」

オブザーバー

小川赤十字病院 高井 太市

上尾中央総合病院 金野 元樹

AIC 八重洲クリニック 館林 正樹

埼玉県済生会川口総合病院 志藤 正和

コメンテーター

小川赤十字病院 高井 太市

座長 さいたま市立病院 石田 貴志

イムス三芳総合病院 小田島明子

埼玉医科大学病院 林 洋希

深谷赤十字病院 坂本 里紗

越谷市立病院 村本 圭佑

指扇病院 安川 紘平

1) (第一支部) さいたま市立病院 中野 雄太

2) (第二支部) 埼玉石心会病院 山浦 良太

3) (第三支部) 埼玉医科大学病院 西村 明香

4) (第四支部) 深谷赤十字病院 登坂 崇史

5) (第五支部) 三郷中央総合病院 長坂 純

6) (第六支部) 上尾中央総合病院 井田 篤

イ. エコーハンズオンセミナー

「見て・聞いて・触ってみよう！心・血管エコーの
勘所」

座長 AIC 八重洲クリニック 館林 正樹

講師 所沢ハートセンター 検査課 谷川 浩史

ウ. 技師講演「発表スライドの作り方」

座長 上尾中央総合病院 仲西 一真

講師 上尾中央総合病院 佐々木 健

埼玉県済生会川口総合病院 森 一也

エ. 技師討論会

『若いうちに身に着きたいグロースマインドセット
～「失敗」と書いて「せいちょう」と読む～』

座長 埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人

講師 埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人

上尾中央総合病院 内田 瑛基

(8) 第 6 回勉強会

日 時：平成 30 年 11 月 22 日 (木) 19:00 ~

場 所：国立障害者リハビリテーションセンター

参 加 者：53 人

内 容：

ア. 教育講演「今さら聞けない CT の基礎 ～救急撮
影～」

座長 西狭山病院 小澤 昌則

1) 「頭部領域」

上尾中央総合病院 金野 元樹

2) 「胸部領域」

埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳

3) 「腹部領域」

越谷市立病院 村本 圭祐

(9) 骨軟部撮影セミナー 2019

(SART 第 2 支部 TART 第 4 地区 第 16 地区合同勉
強会)

日 時：平成 31 年 2 月 24 日 (日)

場 所：JR 東京総合病院

参加人数：136 人

内 容：

ア. MRI セッション

座長 上尾中央総合病院 石川 応樹

1) 「撮像のための基礎知識」

埼玉石心会病院 諸田 智章

2) 「症例から得られる軟部腫瘍 MRI のポイント」

東京慈恵会医科大学付属柏病院 栗山 和

イ. メーカーセッション

1) 座長 JR 東京総合病院 後藤 太作

2) 富士フイルムメディカル株式会社 岡 律朗

3) キヤノンメディカルシステムズ株式会社

渡辺 恒二

4) シーメンスヘルスケア株式会社 太田千香子

ウ. 救急セッション

1) 座長 埼玉医科大学総合医療センター

大根田 純

東京都済生会中央病院 日黒 一浩

2) 「救外患者の骨・軟部～診察から画像診断まで～」

獨協医科大学埼玉医療センター 遠藤 駿登

エ. DR セッション

1) 座長 埼玉医科大学病院 堀切 直也

2) 「画像処理技術と活用方法」

上尾中央総合病院 樋口 誠一

3) 「粒状性低減処理を知って線量低減を考える」

済生会川口総合病院 戸澤 僚太

オ. パネルディスカッション

- 1) 座長 東京大学医学部附属病院 田部井勝行
- 2) 「骨単純 X 線撮影領域における検像の現状と問題点～より良い一般撮影業務を目指して～」
- 3) 埼玉医科大学病院 林 洋希
- 4) 東京慈恵会医科大学附属病院 茂木 正則
- 5) 上尾中央総合病院 茂木 雅和
- 6) 昭和大学病院 安田 光慶

カ. 教育講演

- 1) 座長 春日部市立医療センター 工藤 年男
- 2) 「放射線部門におけるヒューマン・エラー対策の人間工学的アプローチ」
人間総合科学大学人間科学部教授 佐藤 幸光

キ. 特別講演

- 1) 座長 東京メディカルクリニック 荒木 智一
所沢ハートセンター 大西 圭一
- 2) 「骨軟部画像診断について」
東京メディカルクリニック 画像検査センター 顧問
学校法人 慈恵大学 名誉教授 福田 国彦

第三支部

- 会 長 (支部理事) 山岸 正和
副会長 森下 勝
会 計 大友 正人
監 事 今井 昇
役 員 轟 圭介 高瀬 正人
橋本利恵子 市川 隆史

- (1) 第 1 回 支部役員会
開催日時：平成 30 年 4 月 24 日 (火) 19:00～20:10
開催会場：埼玉医科大学国際医療センター
参加人数：5 人
内 容：平成 30 年度事業日程について
- (2) 第 4 回埼玉県大腸 CT 研究会 in KAWAGOE
開催日時：平成 30 年 5 月 12 日 (土) 14:00～16:50
開催場所：ウェスタ川越
内 容：テーマ「CTC をやってみよう」
参加人数：100 人
- (3) 第 32 回川越市健康まつり 実行委員会
開催日時：平成 30 年 5 月 28 日 (月) 13:15～15:00
開催場所：川越市総合保健センター
内 容：昨年度健康まつりの解説、今年度の概要説明
参加人数：24 人
- (4) 第 1 回 支部勉強会
開催日時：平成 30 年 6 月 22 日 (金) 19:00～
開催場所：ウェスタ川越
参加人数：51 人
内 容：今年度事業予定・役員報告
技師講演

・胸腹部 X 線撮影の基礎

埼玉医科大学国際医療センター 舟田 直生

・当院における FDG-PET 検査の流れと取り組み

埼玉医科大学国際医療センター 松本 聡

・大腸 CT について (前処置・撮影・スクリーニング)

医療法人武蔵野総合病院 放射線科 福島 正樹

(5) 第 3 支部納涼会

開催日時：平成 30 年 7 月 21 日 (土) 19:30～

開催場所：GRILL&BEER SAIBOKU 川越店

参加人数：42 人

(6) 第 32 回川越市健康まつり 第 2 回実行委員会

開催日時：平成 30 年 8 月 20 日 (月) 13:15～15:00

開催場所：川越市総合保健センター

参加人数：20 人

(7) 第 2 回 支部役員会

開催日時：平成 30 年 9 月 11 日 (火) 18:00～

開催場所：埼玉医科大学国際医療センター

参加人数：6 人

(8) リレー・フォー・ライフ川越 2018

開催日時：平成 30 年 9 月 15 日 (土) 13:00～

16 日 (日) 13:00

開催場所：川越水上公園 芝生広場

内 容：がん征圧に向けたチャリティー活動

参加人数：49 人 (三支部会員)

(9) 第 32 回川越市健康まつり 第 3 回実行委員会

開催日時：川越市総合保健センター

開催日時：平成 30 年 10 月 3 日 (火) 13:15～15:00

参加人数：20 人

(10) 第三支部ボウリング大会

開催日時：平成 30 年 10 月 19 日 (金) 19:30～21:00

開催場所：BOO-BOSS BOSS

内 容：支部会員親睦

参加人数：33 人

(11) 第 3 回 支部役員会

開催日時：平成 30 年 10 月 19 日 (金) 21:00～21:50

開催場所：BOO-BOSS BOSS

内 容：川越市健康まつり、合同勉強会、新年会など

参加人数：7 人

(12) 第 32 回川越市健康まつり

開催日時：平成 30 年 11 月 4 日 (日) 10:00～15:00

(前日 13:00 より搬入作業)

開催場所：ウェスタ川越

内 容：医療画像展、パネル展示、骨密度測定など

参加人数：3 日：3 人、4 日：10 人

来場者数：5,000 人 (放射線ブース：651 人)

(13) 支部合同勉強会

開催日時：平成 30 年 11 月 10 日 (土)

開催場所：四季の湯温泉ホテルヘリテージ

- 内 容：研究発表、講演、懇親会
参加人数：32人（三支部）
- (14) 平成31年 新春の集い
開催日時：平成31年1月11日（金）19:00～
開催場所：大宮サンパレス GLANZ「ストーリー」
- (15) 第32回川越市健康まつり 第4回実行委員会
開催日時：川越市総合保健センター
開催日時：平成31年1月17日（木）13:15～15:00
内 容：報告会・次年度計画
参加人数：19人
- (16) 第4回 支部役員会
開催日時：平成31年1月24日（木）19:00～21:00
開催場所：埼玉医科大学国際医療センター
内 容：総会資料について
参加人数：3人
- (17) 第三支部 新年会
開催日時：平成31年1月26日（土）19:30～
開催場所：彩々 川越店
参加人数：25人
- (18) 平成30年度 第三支部定期総会・勉強会
開催日時：平成31年3月15日（金）19:00～19:30
開催場所：ウェスタ川越 2階
内 容：勉強会・総会
メーカー講演
MR 最新情報（RSNA 報告を中心に）
株式会社フィリップス・ジャパン 森脇 聡
技師講演
今さら聞けない MRI 基礎
埼玉医科大学総合医療センター 小濱 大
- (19) 第5回 支部役員会
開催日時：平成31年3月19日（火）19:00～21:00
開催場所：埼玉医科大学国際医療センター
内 容：役員交代による引継ぎと次年度運営について
参加人数：10人

第四支部

- 会 長（支部理事） 齋藤 幸夫
副会長 清水 浩和
会 計 大野 渉
役 員 萩原 貴之 新井 偉生
横田 文克 高井 太市
柏瀬 義倫
監 事 山田 伸司 玉川 敏
- (1) 第1回 支部役員会
日 時：平成30年4月18日（水）19:00～20:00
場 所：熊谷総合病院
参 加 者：8人
- (2) 医療画像展（秩父市保健センターまつり）

- 日 時：平成30年6月3日（日）10:00～14:00
場 所：秩父市保健センター
内 容：骨密度測定、パネル展示、
スーパーボール釣りなど
実行委員：12人
骨密度測定、パネル展示、モニター展示：215人
スーパーボール釣り：100人
被ばく相談：0人
- (3) 第1回 支部勉強会
日 時：平成30年6月21日（木）19:00～21:00
場 所：羽生総合病院
講義内容：
「キャノン製品紹介」
キャノンメディカルシステムズ（株）
穴見 和寛
「施設紹介」
羽生総合病院 放射線画像診断科 大野 渉
「胸部X線読影」
熊谷総合病院 医療技術部診療放射線科
清水 理乃
「診療放射線技師のヒヤリハット報告」
羽生総合病院 放射線画像診断科
長谷川 英治
講演終了後施設見学があります（自由参加）
参加者：55人
- (4) 第2回 支部役員会
日 時：平成30年6月21日（木）21:00～21:30
場 所：羽生総合病院
参 加 者：8人
- (5) 平成30年度 第四支部 納涼会
日 時：平成30年7月27日（金）19:00～
場 所：旬彩ダイニング 浪漫 熊谷市宮前町 2-95
参 加 者：55人
- (6) 第2回 支部勉強会
日 時：平成30年9月27日（木）18:30～20:30
場 所：さくらめいと 第1会議室
講義内容：「腹部骨盤領域のMRI」
座長 小川赤十字病院 山田 伸司
「症例検討」
MRCPについて
熊谷総合病院 田中 智大
EOBを用いた肝臓MRI
深谷赤十字病院 登坂 崇史
前立腺検査
羽生総合病院 石川 剛浩
婦人科骨盤領域のMRI 検査
小川赤十字病院 橋本亜矢子
参 加 者：57人

(7) 第3回 支部役員会

日 時：平成30年9月27日(木) 20:30～21:00

場 所：さくらめいと

参 加 者：6人

(8) 医療画像展(深谷市福祉健康まつり)

日 時：平成30年10月28日(日) 10:00～15:00

場 所：深谷ビクタートル・深谷市総合体育館

骨密度測定、パネル展示、モニター展示：
322人

スーパーボール釣り：150人

被ばく相談：0人

(9) 支部合同勉強会 in 熊谷

日 時：平成30年11月10日(土)～11日(日)

場 所：森林公園 四季の湯温泉ホテル・ヘリテッジ

講演内容：

総合司会 埼玉医科大学病院 高橋 忍

開会挨拶 第二支部理事 大西 圭一

支部合同症例検討会『身に着けたい読影力』

コメンテーター

小川赤十字病院 高井 太市

支部座長

第一支部 さいたま市立病院 石田 貴志

第二支部 イムス三芳総合病院 小田島明子

第三支部 埼玉医科大学病院 林 洋希

第四支部 深谷赤十字病院 坂本 里紗

第五支部 越谷市立病院 村本 圭佑

第六支部 指扇病院 安川 紘平

講師

第一支部 さいたま市立病院 中野 雄太

第二支部 埼玉石心会病院 山浦 良太

第三支部 埼玉医科大学病院 西村 明香

第四支部 深谷赤十字病院 登坂 崇史

第五支部 三郷中央総合病院 長坂 純

第六支部 上尾中央総合病院 井田 篤

エコーハンズオンセミナー

座長 AIC 八重洲クリニック 館林 正樹

『見て・聞いて・触ってみよう！心・血管エコーの
勘所』

所沢ハートセンター 検査課 谷川 浩史

技師講演

座長 上尾中央総合病院 仲西 一真

『発表スライドの作り方』

上尾中央総合病院 佐々木 健

済生会川口総合病院 森 一也

技師討論会

座長 済生会栗橋総合病院 内海 将人

『若いうちに身に着けたいグロースマインドセット
～「失敗」と書いて「せいちょう」と読む～』

済生会栗橋総合病院 内海 将人

上尾中央総合病院 内田 瑛基

閉会挨拶 第三支部理事 山岸 正和

参加者：136人

(10) 平成30年度 第四支部 忘年会

日 時：平成30年11月30日(金) 19:00～

場 所：マロウドイン熊谷

参 加 者：78人

(11) 医療画像展(行田市健康フォーラム2018)

日 時：平成30年12月9日(日) 10:00～16:00

場 所：行田市「みらい」ホール

内 容：骨密度測定、パネル展示、被ばく相談

実行委員：7人

骨密度測定、パネル展示：150人

被ばく相談：1人

(12) 第3回 支部勉強会

日 時：平成31年1月24日(木) 18:30～21:00

場 所：さくらめいと 第1会議室

講演内容：

シーメンスヘルスケア 最新技術について

SY 事業部 谷口 貴久

CT 検査環境と2管球CTの使用経験

羽生総合病院 岡田 拓司

外科CTカンファレンス 腸閉塞編

羽生総合病院 染野 智弘

参加者：40人

(13) 第4回 支部役員会

日 時：平成31年1月24日(木) 21:00～21:30

場 所：さくらめいと

参 加 者：7人

(14) 平成30年度 第四支部 監査会

日 時：平成31年2月22日(金) 19:00～

場 所：熊谷総合病院

参 加 者：10人

(15) 小柳洋二氏瑞宝双光章受章祝賀会

日 時：平成31年3月16日(土) 18:00～

場 所：秩父市大宮5911-1

ナチュラルファームシティ農園ホテル

参加者：87人

(16) 第4回支部勉強会・平成30年度第四支部総会

日 時：平成31年3月20日(水) 18:30～20:00

場 所：さくらめいと

講演内容：攻めるCT室 教わる立場から

小川赤十字病院 清水 美季

定期総会

参加者：34人

第五支部

支部理事 矢崎 一郎
支部役員 岩井 悠二
鈴木 孝 石原 優希
矢部 智 村本 圭祐
金子 初穂 中嶋 幸孝
矢作 悠馬 町永 努
加藤 広一
長坂 純 中村 優志

(1) 支部役員会

開催日時：平成 30 年 4 月 13 日（金）
場 所：春日部市市民活動センター

(2) 支部情報交換会

開催日時：平成 30 年 5 月 24 日（木）
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：

iMAR と最新技術の紹介 シーメンスヘルスケア株式会社
大腿骨骨折とその手術

三郷中央総合病院 放射線技術科 岩瀬 慎人
CT アーチファクトの基礎

三郷中央総合病院 放射線技術科 佐々木稀澄
iMAR トライアルの使用経験

三郷中央総合病院 放射線技術科 関口 敬雄

(3) 支部情報交換会

開催日時：平成 29 年 6 月 28 日（木）
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：

股関節領域における外傷性疾患について

春日部市立医療センター 放射線科 武内 健太
変形性膝関節症について

春日部市立医療センター 放射線科 佐瀬 優治

(4) 支部情報交換会

開催日時：平成 30 年 7 月 26 日（木）
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：『新人～ベテラン技師まで、今さら聞けないこと』

一般撮影編：確認を目的とした胸腹部撮影について

済生会栗橋病院 放射線技術科 渡邊 城大
CT 編：CT 検査で初学～中級者に聞いておいてほしい
4 症例

済生会栗橋病院 放射線技術科 内海 将人

(5) 支部情報交換会

開催日時：平成 30 年 8 月 23 日（木）
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：

MREC の基礎と実践

草加市立病院 医療技術部 放射線科
佐藤 広崇

足関節 UTE の検討

草加市立病院 医療技術部 放射線科
加藤 広一

認知症に対する当院の脳 SPECT 検査の現状

草加市立病院 医療技術部 放射線科
蓮見えりか

(6) 支部情報交換会

開催日時：平成 30 年 9 月 27 日（木）
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：

「リードレスベメーカー [Micra] の製品紹介」
日本メドトロニック

(7) 支部情報交換会

開催日時：平成 30 年 10 月 24 日（水）
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：

新久喜総合病院の治療体制について

新久喜総合病院 医療技術部 放射線科
荒川 翼

春日部市立医療センター放射線治療室の変遷

春日部市立医療センター 放射線科
大森 圭介

肺がん治療を細かくみてみよう！

済生会川口総合病院 放射線技術科
眞壁 耕平

(8) 越谷市民祭り

開催日時：平成 30 年 10 月 28 日（日）
場 所：越谷市庁舎内

(9) 支部情報交換会

開催日時：日時：平成 30 年 12 月 6 日（木）
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：

前立腺癌に伴う骨転移治療薬「ゾーフィゴ静注」について
バイエル薬品株式会社 腫瘍・血液領域事業部
関根 岳史

当院におけるゾーフィゴ静注の運用について

新久喜総合病院 放射線科 萩原 俊

(9) ふれあいキューブフェスティバル

開催日時：平成 30 年 12 月 8 日（土）
12 月 9 日（日）

場 所：春日部市ふれあいキューブ

(10) 支部情報交換会

開催日時：日時：平成 30 年 12 月 20 日（木）
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：

『膝関節を極める』

立位荷重撮影の有用性と下肢アライメント評価
越谷市立病院 放射線科 西村 美咲
今さら聞けない膝関節 MRI の基礎

越谷市立病院 放射線科 國井 琢矢
変形性膝関節症に対するリハビリテーション
～画像をリハビリテーションへどう活かしているか～
越谷市立病院 リハビリテーション科 齋藤 暢

(11) 支部情報交換会

開催日時：平成31年1月24日（木）
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
MRI 検査における物品の安全管理とデバイスの運用
について

獨協医科大学埼玉医療センター 放射線部
山田 陽介

認知症における核医学の有用性
獨協医科大学埼玉医療センター 放射線部
押部 勇貴

(12) 支部役員会

開催日時：平成31年2月21日（木）
場 所：春日部市市民活動センター

(13) 支部情報交換会

開催日時：平成31年3月28日（木）
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
造影検査の基礎から最新法まで
株式会社 根本杏林堂
CT プロトコルの見直し
～線量管理ソフト導入に備えて～

三郷中央総合病院 放射線技術科
長坂 純

第六支部

会 長（支部理事）	山口 明	
副会長	茂木 雅和	
監 事	尾形 智幸	羽田野和仁
学 術	木村 浩明	仲西 一真
	安川 紘平	矢野 健太
広 報	倉内 克憲	
編 集	菅野みかり	
総 務	鈴木 雄貴	飯島 竜
会 計	田中 里奈	藤畑 将理

(1) 支部役員会

開催日時：平成30年4月12日（木）
場 所：埼玉県立小児医療センター
参 加 者：11人

(2) 平成30年度 第六支部第一回定期講習会

開催日時：平成30年5月17日（木）19：00～
場 所：地域医療教育センター
内 容：
ア. 胸部領域の基礎

気胸について学ぶ

上尾中央総合病院 飯泉 隼
イ. CR と FPD の比較・使用経験
伊奈病院 沖杉 遼平
ウ. 出会いは人生を変える

埼玉県立小児医療センター 田中 宏

参 加 者：59人

(3) 第六支部第一回技術交流会

開催日時：平成30年7月12日（木）19：00～
場 所：地域医療教育センター
内 容：がんの全身検索 ～基礎から先端技術～
ア. PET-CT

日本メジフィジックス 饗庭 一博
イ. 骨シンチ
上尾中央総合病院 岡藤 由香
ウ. DWIBS

上尾中央総合病院 石川 広樹

参 加 者：43人

(4) 第六支部納涼会

開催日時：平成30年7月26日（木）
場 所：氷温熟成鶏と釜飯 かまどか大宮店
参 加 者：36人

(5) 支部役員会

開催日時：平成30年9月13日（木）
場 所：埼玉県立小児医療センター
参 加 者：11人

(6) 平成30年度 第六支部第二回定期講習会

開催日時：平成30年10月18日（木）19：00～
場 所：地域医療教育センター
内 容：術前 3D 画像作成の基礎

ア. 頭部領域における術前 3D
彩の国東大宮メディカルセンター 小保方 駿
イ. 3D 作成の注意点とデュアルエナジーの臨床応用
深谷赤十字病院 齋藤 幸夫
ウ. 腹部領域

埼玉県立がんセンター 松本 智尋

参 加 者：25人

(7) 支部合同勉強会（熊谷大会）

開催日時：平成30年11月10日（土）
場 所：ホテルヘリテージ熊谷
参 加 者：136人

(8) 彩の国いきいきフェスティバル

開催日時：平成30年11月18日（日）
場 所：埼玉県民活動総合センター
内 容：放射線展
被ばく相談、骨密度測定、パネル展示
実行委員：12人

(9) 忘年会

開催日時：平成 30 年 11 月 29 日（木） 19：00～

場 所：南九州うめえもん大宮亭

参 加 者：32 人

(10) 支部役員会

開催日時：平成 31 年 1 月 17 日（木）

場 所：埼玉県立小児医療センター

参 加 者：12 人

(11) 埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会

および平成 30 年度第六支部第 3 回定期講習会

開催日時：平成 30 年 3 月 13 日（水）19：00～

場 所：地域医療教育センター

内 容：総会および役員選出

講 習 会：救急 XP のポイント

ア. 初期救急医療

さいたま北部医療センター 奥水 創太

イ. 三次救急医療

さいたま赤十字病院 館沼理保奈

参 加 者：43 人

参 加 者：36 人

(2) 埼玉消化管撮影研究会活動報告

ア. 第 54 回 埼玉消化管撮影研究会

講 師：小林茂幸、池田圭介、重松綾、安沢香菜子

開催日時：平成 30 年 7 月 8 日（日）

場 所：深谷赤十字病院

参 加 者：37 人

イ. 第 55 回 埼玉消化管撮影研究会

講 師：田口裕也、志田智樹、池田圭介、大森正司

開催日時：平成 31 年 3 月 1 日（金）

場 所：さいたま赤十字病院

参 加 者：51 人

9. 研究会活動

(1) 埼玉医用乳房画像研究会活動報告

ア. 画像の向こうの患者を診よう

1) 第 68 回 症例検討会

開催日：平成 30 年 4 月 17 日（火）

参加者：31 人

2) 第 69 回 症例検討会

開催日：平成 30 年 5 月 15 日（火）

参加者：23 人

3) 第 70 回 症例検討会

開催日：平成 30 年 7 月 17 日（火）

参加者：19 人

4) 第 71 回 症例検討会

開催日：平成 30 年 9 月 4 日（火）

台風のため中止

5) 第 72 回 症例検討会

開催日：平成 30 年 10 月 2 日（火）

参加者：30 人

6) 第 73 回 症例検討会

開催日：平成 30 年 11 月 27 日（火）

参加者：25 人

7) 第 74 回 症例検討会

開催日：平成 31 年 3 月 26 日（火）

参加者：28 人

イ. 乳腺画像セミナー（乳腺画像読影セミナー；初級編）

講 師：佐藤夏都美、亀山枝里

開催日時：平成 30 年 10 月 14 日（日）

場 所：さいたま赤十字病院

平成 30 年度（公社）埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項

1. 名誉会員の承認について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-1）承認
2. 第 32 回川越市健康まつりへ参画し、医療画像展開催における予算案の承認、骨密度測定装置、展示パネル、のぼりの貸し出しについて資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-2）承認
3. 第 17 回胸部認定講習会開催について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-3）承認
4. 第 5 回 DR 計測セミナー開催について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-4）承認
5. 第 10 回 CT 認定講習会入門編、取得者向け講習会の開催について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-5）承認
6. 新入会員の承認について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-6）承認
7. 第 35 回日本診療放射線技師学会大会の大会テーマについて、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-7）承認
8. 深谷市福祉健康まつりに参画し、医療画像展開催における予算の承認および骨身度測定装置、展示パネル、のぼりの貸出について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-8）承認
9. リレー・フォー・ライフ・ジャパンに参画し、医療画像展開催における予算案の承認、展示パネル、のぼり等の貸し出しについて資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-9）承認
10. 平成 29 年度決算書類について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-10）承認
11. 浦和区健康まつりへ参画し、医療画像展開催における予算の承認およびのぼりの貸出、骨密度装置レンタル使用について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-11）承認
12. 原稿料変更および執筆依頼に関する内部規程変更について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-12）承認
13. 新入会員の承認について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-13）承認
14. 研究発表支援セミナー開催について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-14）承認
15. 第 10 回 CT 認定講習会開催について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-15）承認
16. 保有財産の使途について審議し承認した。（議案書番号：理-16）承認
17. 彩の国いききフェスティバルへの参画に際し医療画像展開催における予算の承認およびのぼり、骨密度装置使用について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-17）承認
18. 「はばら春日部」7 周年記念イベントの参画に際し医療画像展開催における予算の承認および展示パネルの使用について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-18）承認
19. 第 44 回越谷市民祭りへの参画に際し医療画像展開催における予算の承認および展示パネルの使用について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-19）承認
20. 新入会の承認について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-20）承認
21. 乳腺画像読影セミナー（初級編）開催について資料を基に審議し承認した（議案書番号：理-21）承認
22. 平成 30 年度 Freed セミナー開催について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-22）承認
23. 学会大会用、スマートフォン専用アプリケーションの開発および公開について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-23）承認
24. MRI 基礎講習会開催について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-24）承認
25. 行田市市民フォーラム 2018 への参画に際し医療画像展開催における予算の承認および骨密度装置、展示パネル、のぼり、タブレット端末の使用について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-25）承認
26. 平成 30 年度支部合同勉強会開催について資料を基に審議し承認した（議案書番号：理-26）承認
27. 第 1 回 SART 学術ナイトセミナーについて資料を基に審議し予算およびセミナー開催について承認した。（議案書番号：理-27）承認
28. 新入会の承認について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-28）承認
29. 平成 30 年度公衆衛生事業功労大臣表彰および平成 31 年叙勲推薦者について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-29）承認

案書番号：理-29) 承認

30. 第5回救急撮影ケーススタディーの開催について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-30) 承認
31. 役員等への講師および原稿執筆謝金の支払に関する規程における覚書について資料を基に審議し承認した(議案書番号：理-31) 承認
32. ホームページ更新作業業務に関する契約更新について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-32) 承認
33. 新入会の承認について、資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-33) 承認
34. 第35回日本診療放射線技師学術大会における埼玉企画に対する積立金について資料を基に審議し、承認した。(議案書番号：理-34) 承認
35. 乳腺セミナー～精度管理編～開催について資料を基に審議し、承認した。(議案書番号：理-35) 承認
36. 第1回SART被ばく相談事例検討会の開催について資料を基に審議し、承認した。(議案書番号：理-36) 承認
37. 第8回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会開催について資料を基に審議し、承認した。(議案書番号：理-37) 承認
38. 彩の国いきいきフェスティバルへの参画に際し、骨密度測定装置レンタルについて資料を基に審議し、承認した。(議案書番号：理-38) 承認
39. フレッシュアップセミナー(第21回SARTセミナー)開催について資料を基に審議し、承認した。(議案書番号：理-39) 承認
40. 新入会の承認について、資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-40) 承認
41. 2019年度事業計画案について資料を基に審議し、承認した。(議案書番号：理-41) 承認
42. 埼玉県臨床検査技師会との講習会乗り入れおよびホームページへのバナー掲載について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-42) 承認
43. 2019年度埼玉県診療放射線技師会予算案について資料を基に審議し、承認した。(議案書番号：理-43) 承認
44. 第22回秩父市保健センターまつりに参画し、医療画像展開催に際し、予算案および骨密度装置レンタル、展示パネル、のぼりの貸出について資料を基に審議し、承認した。(議案書番号：理-44) 承認
45. 新入会の承認について、資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-45) 承認

平成31年度事業計画（案） 職能団体のスキルミクス

医療職種には医師、歯科医師、診療放射線技師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、救急救命士、言語聴覚士、診療情報管理士、社会福祉士、臨床心理士など、多くの専門職が存在している。

その中で活躍する方たちは、特に勉強家が多い。アフター5や休日に自費で学会や講習会へ参加し、自己研さんすることが当然の事とされている。さらには、その講習会を企画する方たちも同じ医療職種であるが、ほぼ皆ボランティアで企画しており、一般のサラリーマン社会において、このような事は考えられないことである。それは、医療職種という崇高の理念とこれまでの慣習から行われてきたのであろう。今日の社会では、賛否はあるが、これまでの日本の医療技術を支えてきた要因の一つであることに間違いはない。

しかしながら、これらの活動が必ずしもその職種への社会的な評価にはつながっているとは言いきれない。それは、専門性を有するあまり、自分たちの職種に固まりがちとなるからである。同じ

職種で自己研さんをし、お互いを評価することは、技術の向上としては極めて重要なことである。しかしながら、他の医療職種や社会からは、その活動は見えにくく、評価に繋がりにくい。では、自分たちの活動を医療他職種や社会に知ってもらうにはどうしたら良いであろうか。一つの方法としては、自分たちが他の医療職種や社会を知る機会を得ることである。

現在、医療における職能団体は個別に独立しており、行政や医師会が中心となり、その周囲にそれぞれの団体が存在している。そのため各医療職種同士の交流は代表者のみであり、会員同士の交流はほとんどないというのが現状であろう。

そこで医療の専門職種同士が、お互いどのような活動を行っているか知る機会を作ることが必要だと考えている。それがコミュニケーションのきっかけとなり、さらにチーム医療となり、最終的には医療の質の向上へとつながる事を願っている。

1. 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

ア. 第35回日本診療放射線技師学術大会の開催

イ. 埼玉県診療放射線技師学術大会の開催

ウ. 埼玉県診療放射線技師支部合同秋季大会

エ. 胸部撮影認定講習会

オ. 上部消化管検査認定講習会

カ. フレッシュアップセミナー(SART セミナー)

キ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー
(医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成)

ク. CT 認定講習会

ケ. MRI 基礎講習会

コ. 乳腺セミナー

サ. DR 計測セミナー

シ. 救急撮影ケーススタディー

(日本救急撮影技師認定機構との共催)

ス. 読影力向上のための講習会

(支部開催セミナー)

セ. 業務拡大に伴う統一講習会

(2) 会員講師の育成と体制づくり

(3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進

ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力

イ. 日本診療放射線技師全国大会への協力

ウ. 埼玉県医師会主催事業への支援

エ. 埼玉臨床画像研究会への協力

オ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画

カ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画
キ. 各認定機構との合同企画(埼玉開催の推進)

2. 組織運営に関わる事業

(1) 行政との連携

(2) 入会促進事業の強化

3. 公益目的事業

(1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊

(2) 市民公開講座の開催

(3) 地域自治体主催事業への参画

(4) 医療画像展の開催と支援

(5) 県民向けホームページの充実

(6) 医療被ばく相談の迅速な対応

(7) 公立学校における放射線教育の担務

4. 編集・情報

(1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実

(2) 診療放射線技師向けホームページの充実

ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報

イ. 学術データベースの充実

(3) メールマガジンの有効利用

5. その他

(1) 他の医療職種団体との連携

(2) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款

平成 24 年 4 月 1 日制定

平成 27 年 5 月 30 日改正

第 1 章 総 則

(名 称)

第 1 条 この法人は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会と称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を埼玉県さいたま市に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目 的)

第 3 条 この法人は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線学の向上を図り、もって地域保健医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

(事 業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 県民への放射線医療に関する知識の普及啓発事業
- (2) 診療放射線学及び診療放射線技師の職業倫理高揚に関する研修会、研究会、講習会などの開催
- (3) 放射線管理と医療被曝の適正化に関する事業
- (4) 診療放射線学に関する調査、研究、情報提供及び指導
- (5) 前各号に掲げる事業に関する図書、印刷物等の刊行
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、埼玉県内にて行うものとする。

第 3 章 会 員

(種 別)

第 5 条 この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 診療放射線技師及び診療エックス線技師であってこの法人の事業に賛同して入会した個人
- (2) 名誉会員 この法人に特に功労のあった正会員のうち、理事会の推薦を受け総会の承認を得た個人
- (3) 賛助会員 正会員の資格を有しないもので、この法人の事業に賛同して、理事会の承認を得た個人又は団体

2 前項の会員のうち正会員及び名誉会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

(会員の資格の取得)

第 6 条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申し込みをし、その承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第 7 条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員になった次年度から毎年、会員は、総会において別に定める額を支払う義務を負う。ただし、自己の療養又は親族の介護、育児その他やむを得ない事情により、診療放射線技師又は診療エックス線技師として現に業務に従事していない期間が継続して 1 年以上経過している正会員については、総会において別に定める基準に従って経費を支払う義務を免除することができる。

2 名誉会員は、前項における経費を負担することを要しない。

(任意退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を2年以上履行しなかったとき。
- (2) 総会員が同意したとき。
- (3) 当該会員が死亡、又は解散したとき。

第4章 総会**(構成)**

第11条 総会は、正会員及び名誉会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。

(権限)

第12条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬などの額に関する事項
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第13条 総会は、定時総会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第14条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 正会員及び名誉会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議長)

第15条 総会の議長は、当該総会において出席会員の中から選出する。

(議決権)

第16条 総会における議決権は、会員1名につき1個とする。

(決議)

第17条 総会の決議は、正会員及び名誉会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、正会員及び名誉会員の半数以上であって、正会員及び名誉会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第20条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第18条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員等

第19条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 15名以上 20名以内
- (2) 監事 2名以内
- 2 理事のうち1名を会長とし2名を副会長、6名を常務理事とする。
- 3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員の選任)

第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

- 2 理事会は、会長、副会長及び常務理事を選定及び解職する。会長の選定及び解職をする場合において、理事会は、総会にこれを付議した上で、その決議の結果を参考にすることができる。

(理事の職務及び権限)

第21条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副会長及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 会長、副会長及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第22条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員の任期)

第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

- 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第19条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第24条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員の報酬等)

第25条 理事及び監事に対して、総会において定める総額の範囲内で、総会において別に定める役員の報酬などの支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(相談役)

第26条 この法人に、任意の機関として、1名以上3名以下の相談役を置く。

- 2 相談役は、次の職務を行う。
 - (1) 会長の相談に応じること。
 - (2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。
- 3 相談役の選任及び解任は、理事会において決議する。
- 4 前条の規定は、相談役の報酬等について準用する。

第6章 理事会

(構成)

第27条 この法人に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権 限)

第 28 条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長及び常務理事の選定及び解職

(常務理事会)

第 29 条 この法人に常務理事会を置く。

- 2 常務理事会は、会長、副会長及び常務理事をもって構成する。
- 3 常務理事会は、次の職務を行う。
 - (1) この法人の業務運営の年間計画案を策定し、理事会に提出すること。
 - (2) 業務の適正を確保するために必要な体制の運用及び改善についての意見を理事会に提出すること。

(招 集)

- 第 30 条 理事会及び常務理事会は、会長が招集する。
- 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会及び常務理事会を招集する。

(決 議)

- 第 31 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

- 第 32 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第 7 章 資産及び会計**(事業年度)**

- 第 33 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

- 第 34 条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。
- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

- 第 35 条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。
- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
 - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第 1 号、第 3 号、第 4 号及び第 6 号の書類については、総会に提出し、第 1 号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。
 - 3 第 1 項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に 5 年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、正会員及び名誉会員の名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
 - (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事の名簿
 - (3) 理事及び監事の報酬などの支給の基準を記載した書類
 - (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

- 第 36 条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 48 条の規定に

に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解 散)

第38条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第39条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第40条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、電子公告により行う。
2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

第10章 支 部

(支 部)

第42条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。

- 2 支部は第34条の事業計画書に基づき、当該支部に関する事業を執行する。
- 3 支部は第20条第1項の規定により、総会で理事を選任するにあたり、理事候補者の推薦をすることができる。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 この法人の最初の会長は小川 清とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律の施行に伴う関係法律の整備などに関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第34条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程

会費規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第7条の規定に基づき、会費の納入に関し、必要な細則を定めるものとする。

第2条 会費は次のとおりとする。

正会員	年額 9,000 円
賛助会員（個人）	年額 9,000 円
賛助会員（法人）	年額 25,000 円

第3条 前条の会費は、毎事業年度における合計額の30%以上を当該事業年度の公益目的事業に使用する。

第4条 会員は、毎事業年度、9月30日までに、会費年額の全額を納付しなければならない。

第5条 定款第7条第1項ただし書きの規定により、会費の免除の取扱いを受けようとする者は、所定の申請書を添えて、毎年度、本会に申請するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て総会の承認を得るものとする。

附 則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

この規程は、平成28年6月18日から施行する。

役員等の報酬並びに費用に関する規程

（目 的）

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第25条に基づき、役員等の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（定 義）

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- （1）役員 理事及び監事をいう。
- （2）役員等 役員及び会長から指名を受けた会員をいう。
- （3）報酬等 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第13号に規定する報酬

等であって、次条及び第4条に規定するものをいう。

- （4）費用 職務の遂行に伴い発生する交通費、通勤手当、旅費（宿泊費を含む。）及び手数料等の経費をいう。

（報酬の額及び支給の方法）

第3条

理事の報酬は、理事会及び常務理事会の出席1回につき2,000円を上限とし、理事会で決定する。

- 2 監事の報酬は、年額111,370円を上限として、監事が協議して定める額とする。

- 3 前2項の規定にかかわらず、当該役員が報酬を辞退した場合は支給しない。

- 4 報酬は、四半期ごとに現金で支給する。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

（講師及び原稿執筆謝金）

第4条 役員等が会長よりセミナー、研修会若しくはシンポジウムなどの会合における講師を委嘱されたとき又は原稿執筆を委嘱されたときは、別に定める「役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程」に基づき講師謝金又は執筆謝金を支給する。

（費 用）

第5条 本会は、役員等がその職務の遂行に当たって負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

- 2 前項の費用は、現金で支払うものとする。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支払うものとする。

（公 表）

第6条 この規程をもって、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第20条第1項の規定により報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(改 正)

第7条 この規程は、総会の議決によらなければ改正
することができない。

(補 則)

第8条 この規程の実施に関し必要な事項は、会長が
理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施
行する。

1 この規程は、平成 25 年 5 月 25 日から施行する。

役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程
(本会主催の講師謝金)

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下
「本会」という。）の役員等が、本会の主催する講演
会、セミナー又はこれに類する会合（以下「講演会
等」という。）の講師を務めたときは、その謝金とし
て、1 回につきその時間が 30 分以内のときは 5,568
円、1 時間以内のときは 11,137 円を、1 時間を超える
ときは 22,274 円を支払うものとする。

(原稿執筆謝金)

第2条 役員等が、本会の発行する定期刊行物又は書
籍の原稿を当会員または日本診療放射線技師会会員
が執筆したときは、1,000 字毎に 2,500 円を限度とし
て執筆謝金を支払うことができる。但し、1 回の限
度額を 20,000 円とする。

(支払い方法)

第3条 前2条の謝金は、当該講演又は入稿の後速や
かに現金で支払うものとする。ただし、当該役員等
から支給の方法について書面による申し出があると
きは、当該申し出に従って支給するものとする。

(会員以外の者への謝金)

第4条 診療放射線技師以外の者が本会の発行する
定期刊行若しくは書籍の原稿を執筆したときは、第
2条に定める金額に 100 分の 50 を乗じた額を加算し
て支給する。

(改 正)

第5条 この規程は、総会の議決によらなければ改正

することができない。

(補 則)

第6条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長
が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施
行する。

1 この規程は、平成 25 年 5 月 25 日から施行する。

1 この規程は、平成 30 年 6 月 18 日から施行する。

講師謝礼に関する規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線
技師会（以下「本会」という。）が主催する診療放
射線技師または診療エックス線技師を主な対象者と
した、職業倫理高揚及び診療放射線学の向上に関す
る研修会、研究会、講習会等（以下、「研修会等」
という）の講師への謝礼について必要な事項を定め
ることを目的とする。

(謝礼の支払い)

第2条 謝礼は、研修会等 1 回ごとに、講師 1 人につ
き 55,685 円を上限として支払うものとする。

(旅 費)

第3条 講師には、その自宅又は勤務地から研修会等
の会場まで公共交通機関を使用した場合における交
通費相当額を支給する。ただし、研修会等の会場の
近辺に公共交通機関が存在しない等交通不便地の場
合は、講師の自宅又は勤務地から当該会場に最も近
い鉄道の駅までの交通費相当額に、当該駅から会場
まで距離 1km ごとに 300 円を乗じて得た額を加算し
て支給する。

(支給の方法)

第4条 謝礼及び旅費の支給日は研修会等の終了後と
し、支給方法は所得税その他法令の規定に基づき控
除すべき金額を控除し、その残額を現金又は当該講
師の指定する銀行口座に振り込む方法により支給す
る。

(適用除外)

第5条 この規程は、本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合には適用しない。

2 本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合の謝礼及び旅費に相当する金員の支給は、役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程に基づき支給するものとする。

(改正)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

(補則)

第7条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月8日から施行する。

旅費および日当等支払規程

(趣旨)

第1条 この規程は、委員会（編集委員会、学術委員会その他理事会の議決に基づき設置した委員会その他の組織をいう。以下同じ。）の会務（当該委員会の会議及び当該委員会の所掌する事務に関する活動であって、会長の許可を得たものをいう。以下同じ。）のために出張する当該委員会の構成員に支給する旅費及び日当について定めるものとする。

(旅費)

第2条 旅費は当該旅行のための移動方法の別にかかわらず、旅行開始場所から会務実施場所までの往復の旅程について、公共交通機関を用いて旅行した場合に生じる額を支給する。ただし、当該旅行の区間に公共交通機関による移動が不能な区間が含まれるときは、当該移動が不能な区間の旅費は、距離1kmごとに300円を乗じて得た額を支給するものとする。

第3条 会務に従事した場合は、当該委員会の構成員に日当を支給する。

2 前項の日当は、会務1日につき1,000円とする。ただし、会長が理事会の議決を経て定めたものについては2,000円とする。

第4条 旅費及び日当のほか、会務に関する学術大会、

講習会等の開催及びその準備に係る役務費、消耗品費その他の経費であって委員会の構成員が立て替えたものは別に弁償する。

第5条 経費は、その都度現金により支払う。ただし、当該委員会の構成員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

附則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

会員の登録等に関する規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第5条第1項、第6条及び第8条に基づいて、会員の入退会に関する細部手続について必要事項を定めることを目的とする。

第2条 本会に入会しようとする者は、診療放射線技師及び診療エックス線技師でなければならない。ただし、賛助会員はこの限りではない。

第3条 本会に入会を希望する者は、所定の入会申込書を会長に提出するものとする。

第4条 理事会は、入会申込書に基づいてその諾否を審査し、入会承認を決定するものとする。

第5条 入会を承認したときは、会員原簿に登録するとともに、速やかに入会年月日を本人に通知するものとする。

2 入会を否認したときは、その理由を付して本人に通知するものとする。

第6条 会員の資格は、理事会が承認した日に始まり資格喪失した日に終わる。ただし、定款第10条(1)の要件が発生したときは、理事会の承認を経て資格を停止し、出版刊行物送付等を制限することがある。

第7条 会員は、入会申込書記載の住所、氏名、勤務先に変更を生じたときは、速やかに届け出るものとする。

第8条 会員は次の特典を享受することができる。

(1) 本会が保有する会議室を優先して利用することができる。

(2) 本会が刊行する会誌を無料で配布を受けること

ができる。

(3) メーリングリストに登載し、メール等による情報提供を受けることができる。

(4) 本会が主催、共催する研修会、セミナー等に割引料金で参加することができる。

第9条 会員が退会しようとするときは、理由を付し、退会届を本会に届け出るものとする。

第10条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成24年12月5日から施行する。

役員選出規程

第1章 総 則

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の役員の選出は、定款第21条に基づき、この規程により行うものとする。

第2章 選挙管理委員会

第2条 役員を選出するときは、理事会の承認を得て、選挙管理委員会を設けるものとする。

第3条 選挙管理委員会は、正会員のなかから選出して構成し、委員長は互選とする。

2 役員及び選挙の立候補者は、選挙管理委員にはなれない。

第4条 選挙管理委員会は、次の業務を行う。

- (1) 選挙の公示
- (2) 役員の立候補者届の受理、資格審査及び立候補者氏名の公示
- (3) 投票及び開票の管理ならびに当選の確認
- (4) 総会において選挙結果の報告
- (5) その他選挙管理に必要な事項

第5条 選挙管理委員の任期は2年とする。

第3章 役員の選挙

第6条 理事、監事に立候補しようとする個人、又は推薦しようとする支部は、所定の様式により選挙管理委員会に届け出るものとする。ただし、推薦の場合は本人の同意を必要とする。

第7条 立候補又は推薦の届出締切りは、総会の2か月前とする。

第8条 選挙は、立候補届のあった者について、総会

に出席した会員によって行うものとする。

第9条 投票は、出席会員の無記名投票により行うものとする。

第10条 投票は、次の順序によって行う。

(1) 理事

(2) 監事

第11条 当選者は、それぞれ有効投票数を得た者から、高点順に定める。

第4章 無投票当選

第12条 各選挙を通じ、締切日を経過しても立候補者が役員定数を超えないときは、総会において無投票により当選者を定めるものとする。

第5章 異議申し立て

第13条 選挙に関する異議は、選挙終了後14日以内に選挙管理委員会に文章をもって申し立てることができる。

第6章 立候補ならびに当選の取消

第14条 役員立候補者が、選挙公報など選挙に関わる事項について、重大な虚偽の申告を行ったことが明らかになった場合は、選挙管理委員会の決議により立候補または当選を取り消すことができる。

第15条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

総会運営規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の総会運営を民主的かつ能率的に運営することを目的として定める。

第2条 前条の目的を達成するために、総会運営委員会を設けるものとする。

第3条 前条の委員会は、正会員のなかから6名の委員を選出して構成し、委員長は互選とする。

第4条 総会運営委員会は、総会の付議に基づき、次のことを協議し、その承認を得て運営する。

- (1) 議長団の選出の方法
- (2) 議事日程及び進行
- (3) 総会出席会員の資格審査
- (4) その他総会運営について必要な事項

第5条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

表彰規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第4条の事業を遂行するにあたり、顕著な功績のあった者の表彰に関する事項と、関係団体からの推薦依頼に関する諸条件について定める。

(条 件)

第2条 表彰の対象となる者は、次の各号に該当することを条件とする。

- (1) 本会に15年以上在籍し、かつ会費を完納している者
- (2) その他、会長が適当であると認めた者

(種 類)

第3条 表彰に関する分類は次のとおりとする

- (1) 功労賞 本会に多大な貢献があった者、または本会役員の在任期間が4年以上を有している者
- (2) 学術奨励賞 保健医療に関する研究、発明、発見、考案を行った者
- (3) 学術新人賞 研究発表を積極的行った概ね30歳未満の正会員
- (4) 叙勲、関係団体表彰候補
- (5) 永年勤続者
 - ア 20年以上放射線業務に従事した者
 - イ 40年以上放射線業務に従事した者
- (6) 特別賞 他の模範となる善行があった者

(推 薦)

第4条 受賞者の推薦は正会員又は名誉会員が行う。

(選 考)

第5条 選考は表彰委員会が行い、委員会は会長、副会長、総務常務理事、および会長委嘱者5名の計10名で組織する。なお、会長委嘱者と委員長は役員外とする。

(決 定)

第6条 表彰委員会は選考結果を理事会に答申し、決定は理事会にて行う。その他表彰に関する必要な事項についても理事会において決定する。

(内 容)

第7条 表彰は表彰状と副賞を授与するものとする。

(実 施)

第8条 表彰の実施は総会時に行うものとする。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

表彰規程細則

(表彰の実施)

- 第1条 表彰に関わる旅費、交通費は旅費規程の対象外とする。
- 2 表彰者ならびに表彰の概要を本会会誌に掲載し広報する。

(予 算)

第2条 表彰に関する予算は当該年度の予算から充当する。

(表彰枠)

- 第3条 表彰の種類に関わる表彰枠は次のとおりとする。
 - (2) 学術奨励賞 若干名
 - (3) 学術新人賞 若干名

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

互助規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会員の相互扶助を図るために定めたものである。

る。

第2条 前条の目的を達成するために、次の各号の事業を行う。

(1) 会員に対する死亡弔慰金の給付

第3条 死亡弔慰金の金額は20,000円とする。

第4条 正会員の死亡退会の連絡を受けた場合、内容審査のうえ速やかに関係理事を通じて該会員の遺族に給付金を支給するものとする。

第5条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事会において決定するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

委員会設置規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の運営に必要な委員会の設置基準を定め、本規定をもって定款第4条に基づく事業を、会長の指示に基づき能率的に遂行するための組織を整えることを目的とする。

(委員会の種別)

第2条 この規程に基づく委員会は、常設委員会及び特別委員会とする。

2 常設委員会は、本会の管理業務又は定例の事業を担当するものとし、次の各号のとおりとする。

- (1) 総務・財務委員会
- (2) 学術委員会
- (3) 編集・情報委員会
- (4) 公益委員会

3 特別委員会は、本会の運営上臨時に派生する問題、又は特別の事業の必要に応じ、会長が理事会の議決を経て、これを設けるものとする。

(構成及び選任)

第3条 前条の各委員会は、委員長、副委員長及び、若干名の委員により構成される。

2 前条第2項各号に規定する常設委員会における委員長への就任は、会長の指名により、常務理事が、これを分掌する。

3 前条第3項に規定する特別委員会の委員長は、会長の指名に基づき、全理事のなかからこれを選任し

理事会にて承認する。

4 各委員会の副委員長は、当該委員長の指名に基づき、全理事のなかから選出し、理事会において承認の上、会長がこれを委嘱する。

5 各委員会の委員は、正会員又は名誉会員から当該委員長が推挙し、会長が委嘱する。

(職 務)

第4条 委員長は、当該委員会を代表し、その事務を総理する。

2 各委員は、当該委員長の求めにより、随時招集される所属委員会に出席し、付議事項の審議を行う他、委員長を補佐し、本会の事業計画の実行、又は問題の解決に努めなければならない。

3 委員長に不測の事態が起きた場合は、副委員長がその職務を代行する。

(委員会)

第5条 各委員会は、当該委員長が随時招集する。

2 各委員長は、委員会が開催される毎に、以下の内容について、簡潔明瞭な報告書（議事録）を作成し、これを会長及び、総務担当の常務理事（常務理事）に提出しなければならない。

- (1) 付議された事項
- (2) その審議内容
- (3) 審議結果

(理事会への報告)

第6条 各委員長及び、各委員長により分担指名された副委員長は、担当する管理業務又は事業の企画及び実施状況を理事会に報告しなければならない。

(規程の変更)

第7条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、状況により必要な事案が発生した場合は、会長が理事会に諮り定めるものとする。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成26年9月4日から施行する。

研究会設置規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第4条に基づき本会に研究会を設置する場合の手続きを定め、学術研究活動の促進を目的とする。

(定 義)

第2条 この規程でいう研究会とは、前条に掲げた目的を達成するための学術研究を目的とする組織をいう。

(設置申請)

第3条 この規程に従い研究会の設立をしようとする正会員又は名誉会員は、研究会設置申請書（様式—研1）を会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

(承認基準)

第4条 前条により研究会の設立承認をする場合、次の基準を満たしていなければならない。

- (1) 学問領域としての専門性と主体性、かつ社会性が認められること
- (2) 当該研究会の活動により県民が利益を得られること
- (3) 本会が認可する研究会の幹事及び主たる構成員は本会会員であること

(解散及び廃止)

第5条 研究会は、研究会解散届（様式—研2）を会長に提出し、自主的に解散することができる。

2 理事会は前項のほか、前条の基準を満たさないと判断した場合、研究会を廃止することができる。

(名 称)

第6条 研究会は、その名称とともに本会研究会であることを称することができる。

(活 動)

第7条 研究会は、目的を達成するために自主的に活動するものとし、概ね次の活動を行う。

- (1) 研究会を開催する
- (2) 研究成果を学術大会等に発表する

(報 告)

第8条 研究会は、毎年の活動状況を総会に報告する。

(助 成)

第9条 本会は、認可した研究会の発展向上を図る目的で、研究会からの申請により、理事会の承認を得て、助成を行うことができる。

2 助成の規模及び方法は別途理事会で定める。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

技師会センター運営規程

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）技師会センターは埼玉県診療放射線技師会事務所及び会議室で構成する。

第2条 この規程は、技師会センターの運用について規定する。

第3条 技師会センターの管理責任者は会長とする。会長はセンターの業務管理者を指名し、業務管理者がセンター運営業務を行う。

2 重要事項については理事会において審議する。

第4条 業務管理者はセンターの運営に関する全ての責任を有する。

(会議室の利用)

第5条 次に掲げる各号に適合する場合、会長の許可を得て技師会センターを利用することができる。

- (1) 理事が主催する全ての会議、委員会、講習会等
- (2) 本会会員が所属する団体で、会長が認めた会議等
- (3) その他、会長が特に認めた会議、講習会等

(使用手続)

第6条 前条のうち(1)に該当する場合を除き使用する者は、使用責任者を定め、別に定める「技師会センター使用許可申請書」を3週間前までに、所定の使用料金を添えて提出し、会長の許可を得なければならない。

(使用の優先)

第7条 使用は本会事業に関するものを優先し、第5条の順とする。

(使用料及び使用時間)

第8条 使用料及び使用時間は、第5条の(1)に該当する場合を除き、下記の規定によるものとする。

2 使用時間の区分及び使用料は次に定めるとおりとする。

(1) 09:00～12:00	2,000 円
(2) 13:00～17:00	2,000 円
(3) 18:00～21:00	2,000 円
(4) 09:00～17:00	4,000 円
(5) 13:00～21:00	4,000 円
(6) 09:00～21:00	5,000 円

第10条 使用責任者は重大なる過失による使用中の火災設備等の毀損事故に対して責任を有するものとする。

第11条 この規程の改廃は、理事会の決議により行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

理事の職務権限規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会(以下「本会」という。)定款第21条に基づき、本会の理事の職務権限を定め、公益社団法人としての業務の適法、かつ効率的な執行を図ることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、理事とは、理事並びに代表理事たる会長並びに、業務執行理事たる副会長及び常務理事をいう。

(法令等の遵守)

第3条 理事は、法令、定款及びこの法人が定める規範、規程等を順守し、誠実に職務を遂行し、協力して、定款に定める本会の目的の遂行に寄与しなければならない。

(理 事)

第4条 理事は、理事会を組織し、法令及び定款の定めるところにより、本会の業務の執行の決定に参画する。

(会 長)

第5条 会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 代表理事として本会を代表し、その業務を執行する。
- (2) 理事会を招集し、議長としてこれを主宰する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(副会長)

第6条 副会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 会長を補佐し、本会の業務を執行する。
- (2) 会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(常務理事)

第7条 常務理事の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 理事会が決める担当業務を分掌し、執行する。
- (2) 副会長に事故あるとき又は欠けたときは、副会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(細 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は、理事会の決議により別に定めることができる。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

この規程は、平成24年12月5日から施行する。

別 表

理事の職務権限

決 裁 事 項	決 裁 権 者		
	会 長	副会長	常務理事
事業計画及び予算の案の作成に関する事	○		
事業報告及び決算の案の作成に関する事	○		
人事及び給与制度の立案に関する事	○		
重要な使用人以外の者の任用に関する事	○		
出張に関する事	○		
契約の締結	○		
支出			
一件 20 万円以上（理事会承認が必要）	○		
一件 20 万円未満	○		
一件 5 万円以下		○	○

別 紙

選挙立候補届	
現住所	
氏名	年齢
勤務先名および住所	
平成 年 月 日執行の 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（理事・監事） 選挙に立候補します。	
上記の通りお届けします。 平成 年 月 日 氏名 印	
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会選挙管理委員長 殿	

選挙候補者推薦届	
候補者住所	
氏名	年齢
勤務先名および住所	
平成 年 月 日執行の 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（理事・監事） 選挙に上記の者を推薦します。	
平成 年 月 日 推薦者氏名 第○支部代表 印	
（理事・監事）候補への推薦を受諾いたします。 平成 年 月 日 候補者署名 印	
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会選挙管理委員長 殿	

互助給付金申請書

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

会長 殿

〇〇支部理事

印

会員 氏に下記事項発生のため互助規程により見舞金を給付されるよう申請いたします。

記

勤務場所

氏名

当該事項

発生年月日

金額

理事の意見

会費免除申請書

申請日 平成 年 月 日

会費規程第5条により、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会費免除の申請をいたします

申請者会員番号		
申請者名	印	
連絡先	〒 電話	
申請代理者氏名	印 事情により本人が申請できない場合、ご署名下さい。	
会費免除申請理由	(1) 自己の療養 (2) 介護 (3) 育児 (4) その他 () ※該当する申請理由に○をつけて下さい。	
休業期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日まで ※ご職場に申請されている休業期間をお書き下さい。	
休業証明書の確認	有 ・ 無	

※免除の対象となるのは、毎年度の会費を納入期限までに納めている会員に限ります。また、申請時に当年度の会費が納入されている必要があります。
※本申請には休業期間を証明する書類が必要となります。

事務処理欄

受付欄	
会費確認	

様式－研1

研究会設置申請書

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

会長 殿

〇〇研究会

代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の設置を申請します。

記

- 研究会の名称
- 代表者、役員等の名前
- 連絡先
- 研究会構成員－別添名簿のとおり
(本会会員と他の区別がわかるような名簿)
- 研究分野、内容 (具体的に)
- 研究会履歴
- 助成申請の有無

様式－研2

研究会廃止届

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

会長 殿

〇〇研究会

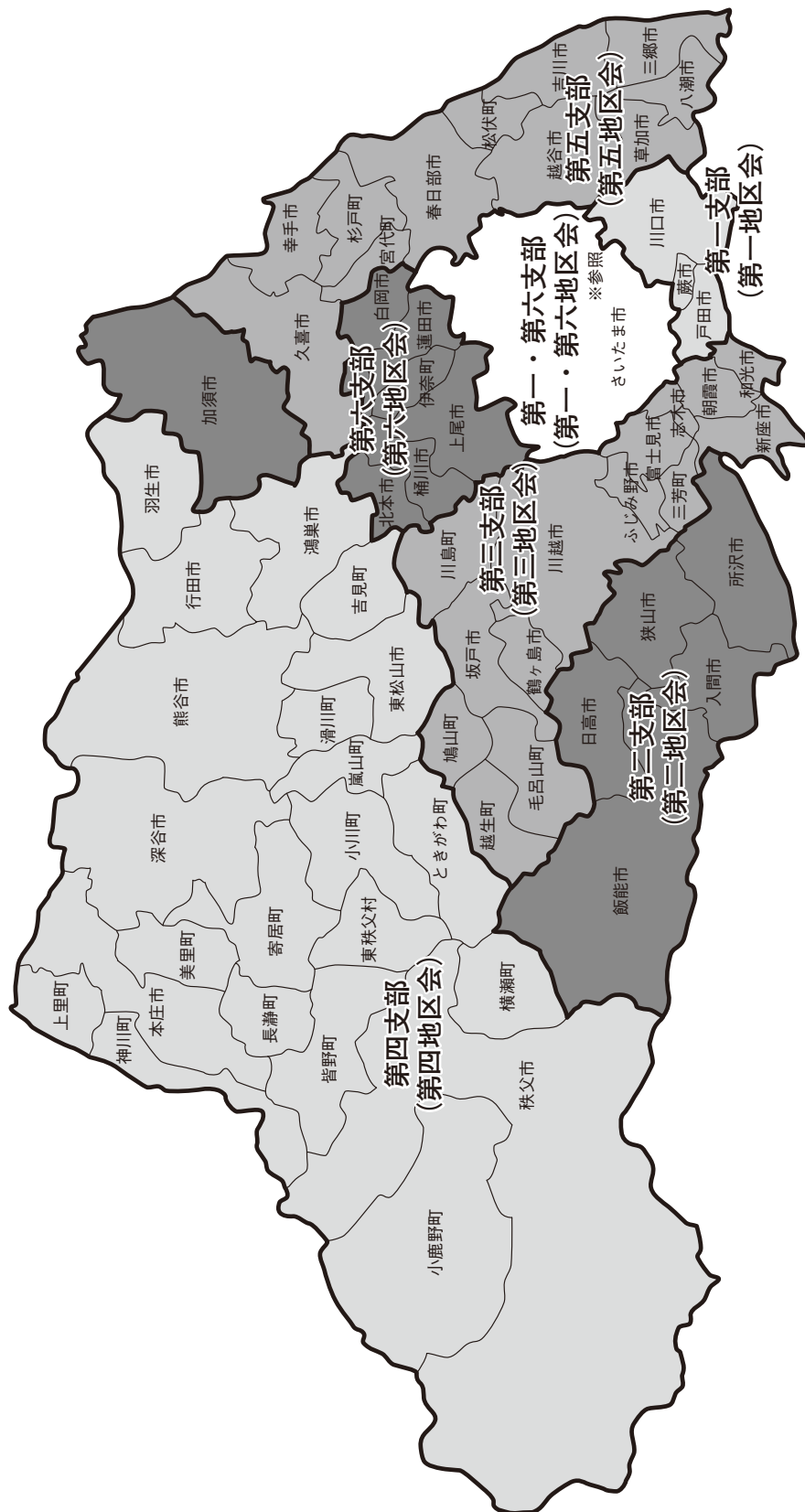
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の廃止を届けます。

記

- 研究会の名称
- 代表者、役員等の名前
- 連絡先
- 廃止の理由
- 廃止の年月日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 支部地図 (2019年4月1日現在)



※第一支部 桜区・浦和区・南区・緑区
第六支部 上記以外のさいたま市内区

2019年度当初予算

2019年4月1日 至 2020年3月31日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

科 目	公益目的事業会計				収益事業会計			法人会計	内部取引控除	合計	備考
	公1	公2	公3	共通	小計	収1	共通	小計			
I一般正味財産増減の部											
1.経常増減の部											
(1)経常収益											
受取会費	0	0	0	3,451,500	3,451,500		0	0	8,053,500	11,505,000	
正会員受取会費				3,294,000	3,294,000		0	0	7,686,000	10,980,000	@9000×1220
賛助会員受取会費				157,500	157,500		0	0	367,500	525,000	@25000×21
事業収益	1,400,000	0	890,000	0	2,290,000	410,000	0	410,000	0	2,700,000	
講習会受講料等収益	800,000				800,000					800,000	14セミナー参加料
学術大会参加登録費収益	600,000				600,000					600,000	@2000×300人
会誌広告収益		0	890,000		890,000			0		890,000	@100000×2 @60000×10等
福利事業収益										0	
貸貸収益						410,000		410,000		410,000	倉庫2戸賃貸
受取寄付金	0	0			0	0		0		0	
雑収益	1,000,000	0	30,000	0	1,030,000	0	0	0	173,300	1,203,300	
受取利息					0			0	100	100	預金利息
雑収益	1,000,000	0	30,000		1,030,000			0		1,203,200	日放委託料 学術大会機器展示料 30,000円×30社
経常収益計	2,400,000	0	920,000	3,451,500	6,771,500	410,000	0	410,000	8,226,800	15,408,300	
(2)経常費用											
事業費											
給与手当	241,200	180,900	180,900	0	603,000			0		603,000	事務員給与按分
福利厚生費	143,200	75,000	0		218,200			0		218,200	医師研修費・講習会費 員昼食他
会議費	102,000	44,000	205,000		351,000			0		351,000	委員会会議費等
旅費交通費	600,000	252,000	102,000		954,000			0		954,000	委員会交通費・日当
通信運搬費	188,522	29,390	681,510		899,422			0		899,422	電話・ネット・郵送費等
減価償却費	308,328	216,175	102,775		627,278	20,354		20,354		647,632	
消耗什器備品費					0			0		0	
消耗品費	170,000	192,591	27,605		390,196			0		390,196	
修繕費	10,000	10,000	10,000		30,000			0		30,000	
印刷製本費			2,531,736		2,531,736			0		2,531,736	学術大会マニュアル 会誌印刷代等
光熱水料費	46,800	15,600	15,600		78,000			0		78,000	電気・ガス・水道
賃借料	851,820	414,000	87,600		1,353,420			0		1,353,420	会費費リース料等
保険料	59,797	19,933	19,933		99,663			0		99,663	
諸謝金	1,432,663	141,062	310,000		1,883,725			0		1,883,725	講師料・原稿料等
租税公課	24,270	8,090	8,090		40,450	20,000		20,000		60,450	
支払手数料	3,240	3,240	11,232		17,712	8,000		8,000		25,712	
渉外費	20,000	5,000	5,000		30,000			0		30,000	
委託費			351,216		351,216	25,000		25,000		376,216	HP管理他
雑費	3,000	3,000	3,000		9,000			0		9,000	

管理費														
役員報酬										103,800				監事
給与手当										658,685				事務局長・事務員給与
福利厚生費用										130,000				
会議費										437,100				理事会等
旅費交通費										498,470				理事会交通費等
通信運搬費										425,482				郵送料・電話・光代金等
減価償却費										383,032				
消耗什器備品費										0				
消耗品費										230,077				会員カード等
修繕費										30,000				
印刷製本費										15,120				
光熱水料費										78,000				
賃借料										21,600				総会会場費等
保険料										99,663				
諸謝金										1,256,752				税理士 司法書士顧問料他
租税公課										113,000				
支払手数料										12,960				振込手数料等
渉外費										120,000				
委託費										5,000				
雑費										100,000				永年御礼表彰他
経常費用計		4,204,840	1,609,981	4,653,197	0	10,468,018	73,354	0	73,354	4,718,741				
評価損益等調整前当期経常増減額														
評価損益等計														
当期経常増減額		▲1,804,840	▲1,609,981	▲3,733,197	3,451,500	▲3,696,518	336,646	0	336,646	3,508,059				148,187
2.経常外増減の部														
(1)経常外収益														
(2)経常外費用														
当期経常外増減額														
他会計振替額					142,271	142,271	▲142,271	0	▲142,271					0
法人税・住民税及び事業税							▲145,000	0	▲145,000					▲145,000
当期一般正味財産増減額		▲1,804,840	▲1,609,981	▲3,733,197	3,593,771	▲3,554,247	49,375	0	49,375	3,508,059				3,187
一般正味財産期首残高														

概要
学術大会における機器展示料を20,000円から30,000円に、ランチョンセミナーの協賛料を50,000円に変更した。
原稿執筆者が増加したので、諸謝金の増額を行った。